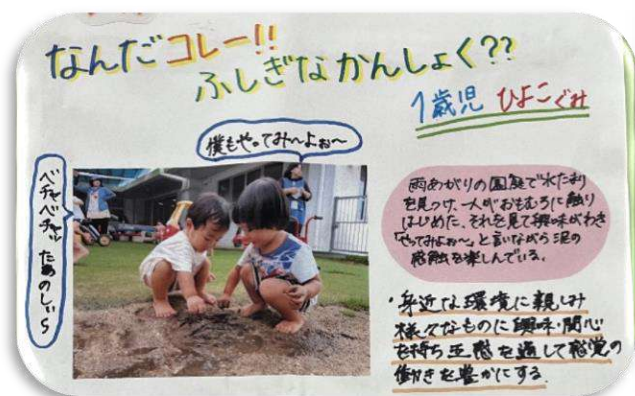


令和5年度 南城市保育ドキュメンテーション事例集



令和6年3月
南城市幼児教育センター

目次

はじめに	1
令和5年度南城市保育ドキュメンテーション集発刊によせて	2
1 保育ドキュメンテーション実践事例・参加者のコメント	
(1) 久高幼稚園 【ベットをつくるぞ】	3
(2) 玉城こども園 【オオゴマダラってどうなってるの】	5
(3) 船越認定こども園 【水遊び】	7
(4) どんぐり保育園 【今日はムーチーの日】	9
(5) バンビ保育園 【たくさんアイスクリーム食べたい】	12
(6) 愛地友遊保育園 【久しぶりに晴れたので】	14
(7) 以和貴保育園 【これな～んだ】	16
(8) 知念こども園 【ぞう組のひな救出大作戦】	18
(9) 知念あさひ保育園 【さんぼで大発見】	25
(10) 佐敷こども園 【お店屋さん開店です】	27
(11) めばえ保育園 【クラスだより】	29
(12) めだか保育園 【ハイビスカスの葉っぱで感触遊び】	31
(13) 馬天保育園 【人参大きくなあれ】	33
(14) 南城みなみ保育園 【キジムナー大好き】	35
(15) 大里こども園 【共同作成4学級】	37
(16) あおぞらこども園 【心がかよい合うわらべうた】	40
(17) あおぞら第二こども園 【畑作り、ジャガイモ大きくな～れ】	42
(18) 松の実こども園 【こおりが とけてるよ～】	44
(19) 愛護保育園 【手作り滑り台】	47
(20) 木の国保育園 【イメージしたことを楽しくつくってみよう～】	49
(21) むぎの子共同保育園 【みんなでチャレンジ】	51
(22) おひさま保育園 【てんとう虫みつけた】	53
(23) 輝咲保育園 【おおきなかぶ物語】	55
(24) おおざと保育園 【みんなで挑戦】	57
(25) のびるっこ保育園 【月桃の葉で消臭剤作り】	59
(26) かりゆしキッズ保育園 【野菜がいっぱい】	61
(27) 新開保育園 【おみせやさんごっこやりたいな】	63
(28) おなかの中から保育園 【木と土と遊ぼう】	65
2 資料編	
(1) 保護者向けドキュメンテーションの紹介	67
(2) 昨年のドキュメンテーション追加紹介	69
(3) 保育ドキュメンテーション研修会の様子	73
(4) 架け橋期カリキュラム研修会の様子	74
おわりに	75

はじめに

南城市内の幼児教育施設では、子どもたちが夢中になって遊び込む素敵な姿があります。その姿は、子どもたちに活動を委ねているだけでは、現れることは難しいものです。各園での保育者の意図的、計画的、継続的で、そして組織的な働きかけがあつて、子どもたちの素敵な姿として現れています。

本市では、市内の全ての幼児教育施設において保育の質の向上を図り、日々、子どもたちの素敵な姿が現れるよう、市幼児教育センターが要となり研修や訪問等取組んでいます。その具体的な取組の一つとして、保育ドキュメンテーション作成を昨年度に引き続き実施しています。

昨年度は、保育ドキュメンテーションの作成を取組みはじめて間もないこともあり、各園では作成に苦慮することもあったと思います。しかしながら作成を継続することにより、「保育の質の向上を図る手立て」だという点が共通理解されつつあり、それぞれの園の良さが保育ドキュメンテーションに現れてきているように思えます。

今年度も各園の保育ドキュメンテーションを事例集としてまとめ、紹介し合うことにより、次年度以降の各園での取組の参考になればと思います。

次年度以降も、南城市内の全ての幼児教育施設の保育の質が向上するよう幼児教育センターの取組を充実させていきますので、ご理解、ご協力をお願いします。

令和6年 1月
南城市幼児教育センター
センター長 與儀 毅

令和5年度南城市ドキュメンテーション集発刊によせて

琉球大学教育学部講師 宮城利佳子

子ども達に今も未来も幸せな時間を過ごしてほしいということは、ほとんどすべての大人の願いだと思います。そのために何ができるのかやってみながら考える、子どもも大人も失敗してもいいから楽しみながらやってみる、そのプロセスをみんなで共有していくことが保育・教育の質向上へとつながるのではないかと感じています。

今年度、南城市でポスターセッションを企画していると南城市の先生方から相談を受けた際に、保育関係者以外の市民も参加できる素晴らしい企画だと胸が躍りました。そして、企画について話し合う中で、せっかくポスター発表をしていただき来場者にコメントもしていただくのだから、それも共有しようということになり本ドキュメンテーション集を作成することになりました。他園の実践やそれに対するコメントを見ることで、保育者の引き出しが増えていくのではないかと思います。

2021年1月に、中央教育審議会から、「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して－全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現（答申）」が出されました。「個別最適な学び」は、幼児一人一人の思いを大事にしながら保育者が願いをもって援助を考えることであり、これまで保育が重視してきたものです。また、「協働的な学び」も子どもの協働性、家庭や地域との連携も保育が重視してきたものです。しかし、園で保育者がどのように子どもと関わっているのか、そしてそこにはどのような意図があるのかは園の関係者以外はなかなか知ることができません。ドキュメンテーションは、保育実践を園外に向けて発信する手段にもなっています。特に子ども理解や環境を通した保育の考え方は、小学校以降にも取り入れていただけるのではないかと思います。さらに、家庭、地域での子どもとの関わり方のヒントにもなるのではないかと思います。

また、ドキュメンテーションを作ることは、子どもを尊重し、子どもの思いを読み取ることでもあります。子ども達が大きくなって自分で読めるようになった時に、自分の園のドキュメンテーションを見て、園の先生方は自分たちのことをこんなに温かくみてもらっていたのか、理解してもらっていたのだなと嬉しくなるようなものであるといいなと感じています。

次年度以降も、市全体として子どもたちが幸せに過ごせるように、幼小接続事業や園内研修等で南城市の先生方と学び合うことができることを楽しみにしています。

ベッドをつくるぞ～！

「だんぼーるでべっとをつくりたい！」という一言からベッド作りが始まりました～♪まずは、段ボール探しからはじめました！給食室から段ボールをたくさんもらい、製作遊びスタートです！！

R5. 6. 16発行



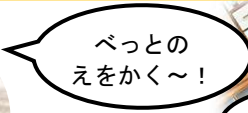
☆段ボール集め☆



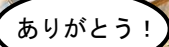
せっけいずをかいています☆



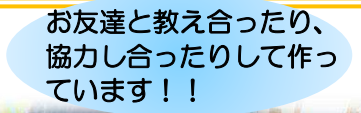
☆設計図☆



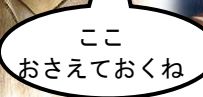
べっとのえをかく～！



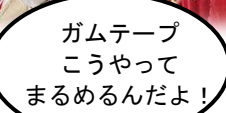
ありがとう！



お友達と教え合ったり、協力し合ったりして作っています！！



ここおさえておくね



ガムテープこうやってまるめるんだよ！



れんじつくったよ～



完成したよ～♪



わかった！やってみるね！

こうやってつくるんだよ！



めがねできた～！



これは、れいぞうこ！

段ボール製作を楽しむ中で、イメージが広がり、作りたいものをどんどん作っていきます。作りたいものを伝え合ったり、作り方を考えて教え合ったり協力したりと、友達同士の関わりがよく見られました！！

1 久高幼稚園

【ベッドをつくるぞ～】3, 4, 5歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい
<p>○給食室からすぐに、ダンボールをもらえる環境がとても、いいと思う。</p> <p>○保育室が、広々しているので、ダイナミックに遊んでいる。</p> <p>○作りたいという事ですぐに、製作のできる環境や大きな廃材のある事が良いと思う。</p> <p>○子どもの自由な発想から、作りたい、やってみたい等、意欲を引き出せるような取り組みが勉強になりました。</p>
視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか
<p>○友だち同士で、ガムテープの丸め方を教えたり、協力して一つの物を作ったりする姿が見られる。</p> <p>○最初は、ベッドを作るところからレンジやメガネ等、別の物にも発展している。ただ別の物を作るのではなくベッド→身のまわりの物→レンジ、冷蔵庫と関連している。</p> <p>○仲間と協力して作る楽しさできた時の達成感はすごいと思います。</p> <p>○ベッドを作りたいから家にあるものへ発展。キッチンや冷蔵庫を作り出す姿や作り方を教え合ったり話し合う事ができる空間いいと思う。</p> <p>○友だちと協力し、考える力が育つと思う。ベッドからメガネや冷蔵庫へと試行錯誤する詩型が見られる</p>
視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか
<p>○さらに、沢山の素材があると、「今度は、家を作ろう」等、発展が、あるかもしれない。</p> <p>○保育者から、「お家の冷蔵庫は何色？」と声掛けすれば、次は、何色をつける等、イメージが広がるかも知れない。</p> <p>○ここから、ままごとできるかな？さらに大きな物や、遊びに使う、小道具等も出来上がっていく過程が見えてきます。大きな家・部屋、100階建ての家のようにつなげていけると楽しそう。</p>
講師：宮城利佳子先生よりコメント
<p>家ではなかなかできない大きな段ボールでの製作、とっても楽しそうですね♡いろんな子がいるから、いろんなアイデアが出てくる。「つくりたい！」「やってみたい！」を実現できると、やってみたいはどんどん出てくるようになるのだろうと思います。次は何を作るのかな？</p>

2 玉城こども園

【おおごまだらってどうなってるの】玉城こども園 ○歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい
<ul style="list-style-type: none">○子ども達の興味・関心から体験が繋がっているが良いなとおもいました。○子どもが興味をもち生き物を育てる経験は、とても良いと思った。○子どもと一緒に作ったドキュメンテーションいいですね。○おおごまだらになって（変身）ごっこ遊びして楽しそうでいいですね。（普段ビニール袋はかぶらないので）○子ども達と一緒に作成したドキュメンテーション味があっていいですね。10の姿もしっかり捉えて保育しているのがいいですね。（小職員）
視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか
<ul style="list-style-type: none">○保育ドキュメンテーションに記載されている育ちの芽生えがよく分かる。○すべてが学びにつながって素晴らしいですね。○命の大切さをみんなで学んでいる。○どんな生き物にも命がある。大切さ、図鑑を使って発表する所も育っている。○経験したことを表現（工作、体を動かす）につながっている。（小職員）○生死について命の大切さについて考えるきっかけになったと思う。（小職員）
視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか
<ul style="list-style-type: none">○生活発表会などで、保護者に発表するのも良いと思った。○虫にも触っていい虫と、触っていけない虫の援助も必要ではと思います。
講師：宮城利佳子先生よりコメント
<p>オオゴマダラの成長をクラス全体で見守った経験を子どもたちと一緒に振り返ったのかな。幼虫から蛹になって、蛹から蝶になるという表面的な知識だけではなく、「さなぎになるからてんじょうにいっちゃった」等、子ども達は細かな点までよく気づいていますね。</p>



お友達の発表を聞く



僕、水を見たいから、上から水を入れてくれる~ 協同性

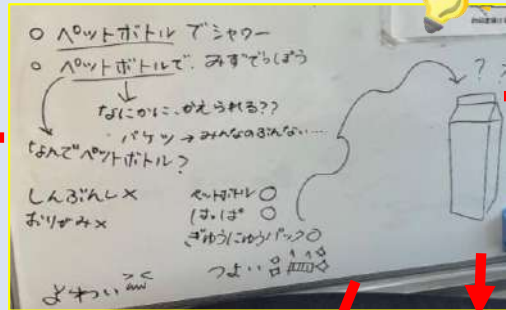
昨年のクラスで、ペットボトルで水鉄砲を作ったことを思い出し、水遊びに使う玩具を作りたい!と、玩具作りが始まりました。さあ!作った玩具、思い通りに水が出るかな~(*´艸`)

ちよろちよろしか出ないな...穴を大きくした方がいいのかもな~



試作品を
持ちより
工夫した
点などを発表

みんなの、つぶやきボード



試作品を
持ちより

私のは、水が横からできるようにしたよ。でも、水をたくさん入れても出てこない...



思考力の芽生え・道徳性・規範意識の芽生え
言葉による伝え合い...



穴を下に開けたらいいんじゃない!

とのお友達からのアドバイスで下に穴を開けてみたらお水が出た~!!

予想通りのシャワーになった~♪

やっぱね!噴水みたいに思ってた!

思考力の芽生え・道徳性・規範意識の芽生え
言葉による伝え合い...



協同性

つなげたら、水が通るんじゃない~!?

方向転換する子も



上の方に穴あけたけど、水が出てこないな~ "(-"-)"イメージとちがう...

穴いっぱいあけたから、水がいっぱい出てくる~♪でも~思ったより、なんか弱いんだよな。



今日は、見学。魚つりゲームお魚とったと~(〇)

すきまから、水がでてくる...

もっと、長くつなげたいんだけどな---

つなげて、長くしよーいい~?



ふたりの合わせて6本



数量の感心・感覚



言葉による伝え合い



強く押したら水鉄砲にもなるよー!!!

水は上から流れるからさー山から水が流れてくるさー

自然との関わり

3 船越認定こども園

【水あそび】 5 歳児

参加者からのコメント

視点 1 : 「いいね」を思いのままお書き下さい
<ul style="list-style-type: none">○玩具作りから始まり、試行錯誤する姿が沢山みられるところが GOOD○SDGS の精神が素晴らしい○常に子どもの発想を形にしていけるつぶやきボードが良いと思った。子ども達も思い出して振り返りができると思います。○一度行った遊びの続きを〈また子どもがやりたい〉という気持ちを先生が受け止めて、子ども達の発想を広げているところが良いと思った。○子どもがいきいきと活動している様子が分かりやすくコメントや写真で生の姿が目につかんでくる。
視点 2 : 子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか
<ul style="list-style-type: none">○水や素材の特性への気付き○思考力の芽生え、言葉の伝え合い、協同性○自由に遊ぶ中で、水の性質を知るようになる。水は上（高い）所から流れるようになることを学んでいる。○牛乳パックにたくさん穴をあける、牛乳パックを強く押すと水鉄砲になるなど気づくようになっていく。牛乳パックをつなげて水路にしたり試行錯誤している。○豊かな体験の中で、水や牛乳パックでたっぷり遊び色々な事を学んでいる。
視点 3 : 遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか
<ul style="list-style-type: none">○廃材を増やす○作ったものを披露する場を設ける○違う素材での水鉄砲作り○「みんなのつぶやきボード」はすごくいいですね。子ども達が主体的に遊びを展開できる手掛かりになります。7月以降も続けてほしいと思いました。
講師：宮城利佳子先生よりコメント
<p>みんなのつぶやきボードで、話し合いがわかりやすくなっているなど感じました。ペットボトルを「なにかにかえられる??」「なんでペットボトル？」と子どもの声を拾いながら計画を立てているのがわくわくします♡最初の計画に縛られず、思い通りにならなくても楽しく試行錯誤できる、方向転換も自由にできるのがいいなと思いました。</p>

4どんぐり保育園 【きょうはムーチーの日！！】

沖縄の旧暦行事のムーチー！いつも美味しく食べているムーチー！
今日は、ムーチーの日の意味やつくりかたを絵本や、作り方を見て知ったよ！



ムーチーはどうやってつくられるかな？



おにムーチーの絵本からムーチーの日の由来について知ったよ！



ムーチーを包む葉っぱ！
月桃の葉の香りを実際にかいでみたよ！



蒸す前のムーチーを実際に触ってみたよ！

こねたものはこれ！ど
う？みんなのほっぺとど
つちが柔らかいかな？

あまいにおいがする！！

どんなにおい？

やわらかい！

紅芋の粉を入れるよ

何色？紫色になったね



力を入れて、愛情たっぷり
みんな健康になれってこねるんだよー！

美味しい！

甘い味がする



ちょっと苦手～

「鬼がくる日にムーチーつくらなきゃ！」と絵本の内容から、節分の日へもつながりました！
今年は、ムーチーも節分に登場しそうですね(^^)／

ムーチャーづくりごっこをしたよ！

「鬼が来る日にムーチャーを作らなきゃ！」という子どもたちの発想から
紙ねんどでムーチャーを作ってみました！

昨日ムーチャーどうやって作った～？



紅芋の粉と黒糖入れて混ぜてた！

先生たちこなしてたよね



カ入れてから！

どんな形だった？



丸くするんだよね

ムーチャーできたら何に包んでたっけ？



ムーチャーの葉っぱ！



こうやって包んでいたよね

ここを折るよ～



感染症が出ていたので、前日は本物のムーチャーを作れなかったけど見て聞いて知ったムーチャーづくり！

こうだったかな？と試行錯誤しムーチャーづくりごっこを楽しみました！
沖縄の旧暦行事のムーチャーの日！伝統行事を知ることができたかな～
子ども達の最高の発想から始めたムーチャーづくりごっこ！
2月の節分、ムーチャーも鬼さんにあげたいね～(^^)／

4 どんぐり保育園

【ムーチャーの日】

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい
<p>○沖縄の年中行事であるムーチャーの日を経験させているのはいいですね。</p> <p>○葉っぱの匂いを嗅がせたり、ムーチャーのこね具合を感じさせたりと、子ども達に五感を働かせるような声掛けも良かった。</p>
視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか
<p>○沖縄の行事（ムーチャー）と節分を重ねて、節分にムーチャーが登場すると発想を膨らませている。</p> <p>○子ども達は、絵本をみてムーチャー作りを経験してごっこ遊びをすることで更に沖縄の伝統行事を知ることができた。</p>
視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか
<p>○ムーチャーの時期に月桃の葉っぱで「ムーチャーごっこ」をしたいですね。紙粘土より外で泥団子を餅にして月桃の葉で包む遊びをたっぷりさせてみてはどうでしょうか。</p> <p>○沖縄の伝統行事を知らせる事も大事ですが、同時に沖縄の”わらべうた”を教え歌うといいと思いました。♪ムーチャームーチャー鬼ムーチャー♪ 歌にも思いが込められています。</p> <p>○月桃の葉っぱを園の一角に植えてみてはどうでしょうか。色々な教材になります。葉っぱで普段から自由に遊べる環境になるといいですね。</p> <p>○茎をたたいて細長い紐にもなります。ムーチャーを包む紐に使えます。その紐や葉っぱで遊ぶうちに子ども達は色々な発見をするのではないのでしょうか。</p> <p>○月桃の花は、白と淡いピンク徐々に変化していきます。花は香りもあり、種もままごとにも使えます。花が咲いたら保育室や玄関に子ども達の目の入る場所に飾るのもいいでしょう。豊かな感性が育つのではと思います。</p>
講師：宮城利佳子先生よりコメント
<p>ムーチャーを作るのを見た経験が、子ども達のムーチャーづくりごっこにつながったんですね。子どもの「ムーチャーつくらなきゃ」を大事にしたところが素敵です。月桃を園内に植えたり、月桃の葉っぱ探しのお散歩をしたりすると満足するまで繰り返しムーチャーづくりごっこができるのかな。</p>

(1歳児クラス)

ごっこあそびがブームな1歳児…最近ではアイスクリーム屋さんごっこが大好きで園庭ではよく「アイス作っているよ〜!」「おいしい〜?」など子ども達同士でやりとりを楽しむ姿が見られます。そこからヒントを得て粘土や紙等の素材を使ってオリジナルのアイス作りがスタート…♪

園庭あそび

粘土あそび

アイスクリーム
ちょうだい!

これにいれて〜!

せんせいどうぞ😊



「アイスクリーム〜♪アイスクリーム〜…♪」
と歌を口ずさみながら楽しむ姿です。

室内あそび(アイス屋さんごっこ)

まずはみんなでアイスクリーム作りから…

いろいろな色や種類のアイスがあって楽しいね!



紙をクシャクシャにして〜 シールをペタペタ〜



★子ども達がより**ワクワク!ウキウキ!**楽しめるようにエプロンやたくさんのアイス、カップ、ディッシャーを用意しました(環境)

★あそびを通して自然と「いらっやいませ」「どれにしますかぁ?」「ありがとう」等、言葉のやりとりも多く聞かれました(言葉)

いらっやいませ〜

ありがとうございました〜



どれにしますか〜♪

5、バンビ保育園

【たくさんアイスクリームが食べたいな】1歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- 年長さんにあこがれて色々な遊びにチャレンジする姿がいいね
- 遊びを通して子ども達同士、自然と会話が生まれている環境が良いと思いました。
- 子ども達の大好きなアイスクリーム作りをワクワクしながら取り組んでいる様子が伝わってきます。保育者がアイスクリームの材料を用意し、やりたいことを実現させているのがいいですね。
- 1歳児でも遊べるような教材を準備し、紙をクシャクシャにしてシールを貼ったり、カップやディッシャー、エプロンを用意してアイス屋さんになりきって楽しく遊んでいるのが素敵です。

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 「先生どうぞー」という言葉から、思いやりの心が見られる
- 協同性（友達と協力して一緒にアイスクリームを作る）
- わくわくして遊んでいるので、「いらしゃませ」「どれにしますか～」「ありがとうございました」と1歳児なりにお客さんと言葉のやり取りを楽しんでいる。（育ち）

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 異年齢との関わりをもっと見てみたい。
- 他の材料を用意した時に子どもたちがどのような遊びをするのか見られたらいいなと思いました。
- アイスクリーム以外にも見てみたい。
- ものとの関わりを豊かにするために、ふわふわのソフトクリームができる素材もあるといいですね。ティッシュペーパーや習字紙があるとソフトクリームが出来るかも知れません。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

外でも中でも、アイスクリーム遊びが続いているのですね。砂だけじゃなくて、粘土でも紙でもアイスが作れる！用具やエプロンで、想像がますますふくらんで、子どもたちは本当のアイスを作っている気分になったのでしょうか。子どもたちのブームを大事にして、もっと喜ばせてあげたいという保育者の気持ちに嬉しくなりました♡

久しぶりに晴れたので

ぞう組（4歳児）

6月某日雨が降る日が続き室内遊びが多くもんもんとしていた子どもたち「お外で遊ぼう」と声を掛け戸外にでると・・・鬼ごっこをすと思ったら・・・予想外のことが・・・

園庭にできた大きな水たまりを見つけて



大きな容器を持ってきて



いっばい
いれようね



泥んこ風呂
はいいた
いけど...

あっという間に泥んこ風呂へ



なにかいたの？



とてもたのしいよー



俺らも遊びたいけど



なにを発見したのかな？

泥んこパック中



まだ足りないかな？



見てーだんごができたよ



あっという間の出来事でした。とても遊び込んでいたので気付いた時には、止められず男の子は、「どうしよう」と思いながら女の子の遊びを見ていました。この子どもたちの姿が子ども主体の保育なんだろうと感じた出来事でした。

6 愛地友遊保育園

【久しぶりに晴れたので】 4歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- 子ども達のつぶやきが可愛い。
- そこを見逃さずにいる先生のみとりが良い。
- 保育者の予想外の遊びを大事に見守りながら、子ども達が楽しんでいることを止めなかったのが良かった。
- 子ども本来の姿ですね。泥んこ風呂に入り、泥パックにしたり、泥団子を作ったり、最高に楽しいだろうな。私も子どもに戻って一緒に泥風呂に入り泥パックをしたくなりました。

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 水たまりが出てしまう環境をあえてそのまま保育を行い、この中から子ども同士の気付きや会話が生まれている。
- 「健康な心と体」充実感をもって自分のやりたいことに向かって心と体を十分に働かせています。このような充実感を日々味わわせてあげたいですね。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 砂・水・泥等の変化する素材をいろいろな方法で試したり、繰り返したりできる環境があればもっといいかな。例えば、トイヤろ過装置等の道具。
- 泥んこパックにも関心があるのでそれについて調べられる援助があれば遊びや知識が広がるかな・子ども達が主体的に遊びこむ様子が見えていますね。遊びがもっと広がるよう山や川作りをしたりできるような道具や自然物もあつたらいいかもしれませんね。
- 男の子も「俺らも遊びたいけど」と先生が読み取っているのもいいですね。一緒に遊びたい気持ちを汲み取って誘ってあげるか。男の子から「遊びたいな～」と言って来るまで待つか。自分の思いを言える子に育てているといいですね。男の子が加わるときっと違う遊びに発展するでしょうね。トラブルが起こるかも知れないですがそれも想定内。トラブルを皆で解決していくのも学びです。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

大きな水たまりから泥んこ風呂、泥んこパックにと遊びを展開させる子どもたちののびやかな発想が素敵です。感触を思いっきり楽しんだら、次はどんな遊びにつながるのかな。特別な一回だけの体験ではなく、園だから繰り返して深まる遊びにこれからなっていくのかなと感じました。

なんだかザラザラするぞ

じぶんで(入れること)できるよ!



見て触って



触って



見て

これは食べもの?

遊んでもたのしいね!



食べてもおいしいね



遊んで



オクラ
夏の野菜
見て・触って・食べて・遊べるができる
子どもたちにとって
はじめての経験に最適!



食べて



いろんなことに興味を持ち始める1歳児ならではの初めての野菜栽培は、オクラ!

育てやすく、おいしいだけではなく

- ・見て触って感触を楽しむ
- ・どんな味かを確認する
- ・オクラのスタンプとして遊びにも

【やさいの栽培を通して、食べ物が育つ過程を知らせる】

を目標に食育活動を行う。

はじめは「これはなんだろう?」と不思議そうに見ていた子どもたち、一口食べてみると「おいしい」と味わって食べている。

また、絵の具を使ってスタンプ遊びをすると、紙にうつるオクラの形に喜んで何度も押して楽しんでた。

7 以和貴保育園

【これな～んだ？】 1歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- 子どもの声が聞こえてきそうな保育が出来てよかった。どの子も表情が良い。
- 触覚、嗅覚、味覚の経験が出来てよかったですね。
- 生のオクラを食べたんですね。美味しかったですか？家庭ではできない経験を、お友達と一緒に楽しんで出来る姿がほほえましい。
- 生のオクラを食べる体験は、もぎたての柔らかいオクラを選んでの体験でしょうね。えぐみもなくおいしいのかな？写真を見て私も体験したくなりました。いいですね。

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- オクラを通して、興味、関心に繋がったんですね。
- 様々なものに興味をもつ1歳児は感性が育つ時期、その時期にオクラで野菜の手触り、ザラザラを感じ、食べてネバネバを感じ、スタンプ遊びでオクラ模様にきれい！を感じた事例で5感が刺激されたと思います。
- これからいろいろな野菜の栽培と食する体験を重ねることで、野菜の種、葉っぱ、花、匂い、手触り等、感覚の働きを豊かにすることに繋がってくると思います。楽しみです。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 様々な感覚が体験出来る遊びを行い、子どもたちも楽しんでいるように感じていいと思う。
- 夏野菜（ナス、ピーマン、ゴーヤー、きゅうり）等を園で栽培活動できるといいですね。
- 野菜ぎらいな子が増えてきている今日、自分たちで栽培した野菜をみんなと楽しく食べる経験は貴重だと思います。また、プランターで工夫しながらの栽培いいと思います。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

子どもたちにとって、オクラが特別な野菜になったのだろうなと感じました。オクラを触ったのが初めての子も多かったのではないかと思います。保育者がどのような声掛けをしたのか、もっと知りたいなと思いました。今度は何をスタンプにするのかな？

【エピソード1】

知念こども園（4歳児）

<園児の姿>

オオゴマダラ飼育をきっかけに園庭のあらゆる場所に興味、関心が広がっていった子ども達。園庭のあらゆる場所を観察して楽しむ姿が見られるようになった。ある日、数名の園児がシークワサーの木の上にある鳥の巣を発見。クラスのみんなで鳥の巣の事について考えるようになった。



木の上に鳥の巣があるんだよ！！



盾と剣を作ってカラスから守る。



折り紙で鳥を作ってわからなくしよう。

～みんなでカラスからひなを守ろう～
シークワサーの木に鳥の巣がある事を知ったA君とB君。帰りのお集まりで他のお友だちに教える姿が。

A「シークワサーの木に鳥の巣があったよ」

教諭「あったね。でもこの前、ひながカラスに食べられそうになったの見たから心配だな」

C「カラスに食べないでって言ったらいんじゃない？」

D「でもカラスと目が合ったら仕返しされるよ。」

教諭「じゃあみんな少し考えてみてね。」

次の日みんなで木を実際に見に行き、みんなで作戦会議をすることに。話し合いをするうちにカラスからひなを守ろうということになり、いろんなアイデアがでた。

・次の日、「カラスからひなを守ろう」という共通の目的に向かってどうするか？を考えはじめた子ども達。いろいろな考えがでて次の行動に・・・エピソード2に続く

友達と一緒に意見や考えをだしあいながら、自分達の知識、経験を行動につなげようとしているクラスでカラスがよく飛び回っていることに気づき、共有する事で、「カラスからひなを守ろう」という共通の目的に向かっている。【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】【協同性】

【エピソード2】

〈園児の姿〉

- ・普段、なかなか自分の意見を言わない子も、自分の持っている知識などを発表する姿があり、興味を示しているのが分かる。また、こうしたい！ああしたい！と考えがあるようで続きを考える姿があった。
- ・クラス全体で共有することにより、クラス全体にまとまりが出てきて、他の活動にもいい影響が出ていた。

～みんなで材料探しにいこう～

A「巣を守る家をつくらう」

B「巣に石をつけたら、カラスがぶつかって痛いって言って逃げるんじゃない」

C「鳥の巣って木と葉っぱでできていたからそれもくっつけよう」

教諭「じゃあどうしようか？」

D「散歩に行ってお木や葉っぱ、石を探しにいこう」 全員「いいねー。エイエイオー」

※その後散歩に行き、材料を集めカラスからひなを守るグッズが完成！ エピソード3に続く



材料がいっぱい集まったね。どうやって巣を守る家をつくる？



とりの巣ってどんな形なのかな？



固い石もつけながら、木や葉っぱをつけたら守れるよ



これで石ころ飛ばしてカラスをやつけられそう！



カラスこれみてビックリしにげるはず！！



やったー。ひなを守る道具が完成

散歩で楽しみながら身近にある自然の豊かさを友達と一緒に感じている。普段は気づかない発見をする事で、自然への興味、関心が広がっている【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】【協同性】
【自然との関わり・生命の尊重】

【エピソード3】

〈園児の姿〉

- ・自分の思いが通らないと不貞腐れ、泣いて思いを通そうとする姿がある。
- ・共通の目的に向かって、友達を励ます姿がある。

～自分の考えだけじゃない！！いろんな考えがあるんだね！！～

A「ひなを守るために作った家、ここに付けよーと」

B「ひなの巣を守るために作ったのにここに付けても意味ないよ」

A「もうやりたくない。遊ぶ時間がなくなる」 C「A君、じゃあひなが死んじゃってもいいの？」

A「別にいいし」 C「A君の大好きな人が死んだら悲しくないの？」

A「死なないし！」 D「A君、最後までみんなで行こうよ、ひなを守ろう」

A「わかった。ひなを守るためにがんばる」

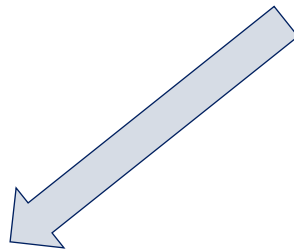
エピソード4に続く



ひなを守るために作った家。ここに付けよーと！



ひなを守るために作ったのに、ここに付いたら意味ないよ！



もうやりたくない！！



最後までみんなでやってみようよ。ひなを守ろう。

・高さのある木への仕掛けの取り付けをどうすればいいかと、友達同士で試行錯誤しながら協力し合い、葛藤もしながらも共通の目的に向かって取り組む姿がある。【協同性・思考力の芽生え・言葉による伝え合い】

【エピソード4】

〈園児の姿〉友だち同士で、いろんな考えを出し合いながら、協力して取り組む姿がみられてきた。

～木が高すぎて届かない！みんなで力を合わせよう～

- A「高い場所につけたいけど届かない」
- B「フェンスに登ればいいじゃん。でもやりにくい」
- C「俺の背中に乗って。あ！ダメだ！届かない」
- D「いいこと考えた。イス取ってこよう。でも届かない」
- E「みんなで部屋にある大きいテーブル取ってこよう」
- F「やばい！カラスが飛んでいる」
- G, H, I「大丈夫！みずかけてから退治しとくから」

全員「ヤッター！うまく取りつけることができたぞー」「これでひなをカラスから守れるね」

エピソード5 続く



俺の背中に乗って！



イスを使えば届くかも？！



重たいけどがんばろう！



あ！カラスが来てる！！



水かけろー！



仕掛けが完成。これでひなを守れるぞ。

高さのある木へのとりつけをどうすればいいかと、友達同士で試行錯誤しながら協力し合い、状況に応じた役割分担もしながら、命ある物を大切に、守ろうとしている【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】【協同性】【自然との関わり・生命の尊重】

〈エピソード5〉

次の日、登園してきたこども達が「ひなどうなったかな?」「カラスに食べられてないかな?」と心配していた。さっそく木を見に行くことに・・・作戦成功?作戦失敗?

〈園児の姿〉

- ・ いろんな意見が飛び交うが、子ども達同士で相手の気持ちを受け入れようとする姿がある。
- ・ 今まであまり関わりのなかった子同士が、協力して取り組む姿がある。

～こども達の本当の気持ち～

A「しかけがこわれてるー!!」 B「作戦失敗だ!」 C「何で失敗なの?」
B「だって壊れてるのに」 A「壊れるってことはカラスがぶつかって壊れたんだよ」
B「じゃあ作戦成功だ」
A「でも、カラスがぶつかって壊れたってことはカラス怪我して血が出てるかも」
D「ひなは幸せになれたけど、カラスは幸せになれてない・・・カラスも幸せになってほしい」
教諭「そっかー。じゃあどうする?」 A「カラスに傷テープ貼ってあげたい」
D「でもカラスに貼る、傷テープってないさ」 A「・・・じゃあ作ろう!」
E「カラスのベッドもつくろう!」 F「カラスに塗る、薬もつくろう!」
G「カラスが元気になるようにおもちゃも作ろう」

※カラスのために傷テープやベッド、薬、おもちゃを作る事になりました

みんなで考えた作戦成功喜び合いながらも、カラスにも命があるという事に気づき、みんなで考え合いながら命ある物を大切にしようとしている【思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】【協同性】【自然との関わり・生命の尊重】

☆キズテープ作り☆



あ!真ん中がふわふわしてる!

はじっこは、ねばねばしてる!

本物のキズテープを確認中



フワフワはたんぽぽのわたげで作ろう



真ん中にたんぽぽのわたげおいて!



☆ベッド作り☆



木の枝は下に置く?

葉っぱは枝の上に置こう



ベッド完成!

カラスがこのベッドで寝てくれますように



【エピソード5 続き】

★薬作り★



葉っぱも入れて、水も入れて薬つくる？

薬みたいじゃないから、花で色つける？



いいね！やってみよう

そうしよう。その方がカラスも薬ぬりやすいはず



薬、完成！



薬とキズテープと新しい羽も入れよう。



カラスの為の救急箱も完成だ！！

カラスさん救急箱に気づいてね。

★おもちゃ作り★



カラス折りたい。じゃあ折り紙の本で探そう



何さがしているの？一緒にさがすよ。

ないね！どうする？

年長組さんが一緒に探してくれました



どうやるの？

難しいな！



よかったね。

出来たよ。お姉ちゃんありがとう



カラスが喜びますように

☆ひな救出大作戦のあそびを通して☆

- ・同じ共通の目的に向かいながら、試行錯誤したり、友達と協力し合いながら楽しむ事で相手の思いに気づいたり、新しいアイデアを共有したり、思いをお互いに出し合う経験につながった。
- ・子ども達の言葉を大切にしながら、それぞれの思いを認め、繋げていった事で「もっとやりたい」の気持ちになり、主体的で豊かな遊びに繋げることができた。
- ・ひとりの発見が友達の中で広がり、共に喜び合ったり、驚き合ったり楽しむ仲間がいることで、子ども達はさらに環境に働きかけるようになり、探究心が深まっていると感じた。

8 知念こども園

【ぞう組のひな救出大作戦】 4 歳児

参加者からのコメント

視点 1 : 「いいね」を思いのままお書き下さい

- 鳥の巣を見つけた子どもがきっかけに、子ども達の色々な声で気持ちが飛び交い、カラスをやっつけるはずが最後はカラスの気持ち思いやる気持ちも芽生えて素敵だった。
- 子ども達の声に耳を傾けひなを守る為に何をすべきか？を一緒に考えて見守りながら援助している事が良かった。
- 一つのきっかけから、見守る世界が広がり、子どもの発見から先生が子どもの声にも耳を傾け、巣箱作りへ発展し、その後の子どもの関心も続き命の尊さを学んでいてすごいです。

視点 2 : 子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 協同性 ○思いやりの心 ○失敗から学ぶアイデア
- ひなを救出作戦から敵であるカラスの心配もする子ども達の思いやりが見られた。また、皆でやろうという協同性も育っていると思います。
- 薬づくり、思いやりの心、普段から優しく手当てしてもらっているからこそ思いやりの気持ちが芽生えてきていると感じました。
- 子ども達の気づき発見の中から力を合わせカラスから鳥の巣を守ろうとする姿思いやりやお互いが協力するすばらしさを学んだのではないのでしょうか。
子ども達同士で話し合い協力してひなを守ろうとする姿がわかりやすく、思いやりの心が自然と芽生えていると思いました。

視点 3 : 遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- カラスは実際にいたのか気になりました。カラスはとても頭が良い生き物です。「繁殖期」だと攻撃的になる試みはとても良いかと思いますが、とてもあぶないと思いました。カラスに対しての安全対策があったのであれば記してあるとよかったですと思います。なかったのであれば、後日行う事があればその点について十分に気を付けてほしいと思いました。
- カラスに思いを寄せる子ども達、次はカラスに興味を持たせるような「しかけ」を試してみてもどうでしょうか。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

子どもが見つけたことを共有する時間を大事にしている、子どもの考えを引き出す声かけを保育者が日頃から意識しているのだろうな、共通の目的に向かって、動き出す子どもたちが頼もしいなと感じました。鳥の巣についての知識を増やしながら様々な方法を試したり、カラスの立場に立ってみたり、キズテープについて詳しくなったりとどんどんつながって行ってますね。タンポポの綿毛のフワフワ、素敵な思いつきですね♡

9知念あさひ保育園 **散歩で発見** ぱんだぐみ (2歳児)

「今日はどこに散歩に行こうかな？」さんぽが大好きなぱんだぐみ ぱんだぐみの散歩を紹介します♡



保育園の側の坂道は急坂だけど～ 手すりをつかめば安全です



散歩の途中もニコニコ

やっほ～



なんと側溝の中まで興味津々



ここだけ色が違うんですけど～



近くには海もあります



あれってなんだろう？



砂の上に絵を描けるのを発見！！



友達にも教えてあげました



今日はたこあげです。

「あれっ？飛ばないんですけど・・・」



走ったらいいんだよ～



びゅ～ん

最初は長い距離を歩くのが苦手だったり、よく転んでいた子も足腰が強くなり散歩を楽しんでいます。散歩の途中で見つけた物を観察したり遊びにも取り入れいろいろ発展しています。(o^ー^o)ニコ



保育参観ではお父さんも、お母さんも一緒に散歩・・・ 「こんなに長い距離歩くんだ(∩_∩)」と感心してました。



9 知念あさひ保育園

【散歩で発見】2歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- 散歩で行ける距離に海や豚、ヤギが見れる所にある環境が、素敵だと思いました。
- 保育参観、親も一緒に参加して、豚と動物と触れ合いながらお散歩素敵ですね。
- 海も近いという環境の中で、身近な自然の中で子ども達が、感じた事や、気づいた事を保護者とも共有できて、素敵な環境の中、伸び伸びしていて素敵。
- 散歩の途中、あれなんだろう！側溝の中にも興味深々で色々は発見を楽しんでいますね。又、砂にも絵を描いたり保育園の砂とは違う感触を味わうことができたと思います。

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 砂に絵が描ける事の発見、やってみて描ける事を知り、遊びがもっと広がる。
- 身近な自然に触れて、豊かな感性を育てる事ができる。
- 2歳児がテスリを使って散歩、大幹も筋力も付いて、丈夫の体が出来上がるんでしょうね。
- なかなか触れ合えない動物が散歩コースにあるのも魅力ですね。
- 凧揚げを経験したんですね。走ったら凧が良く上がることを知っている子どもがいて、その事を友達に教えてあげている。〈言葉による伝え合い〉

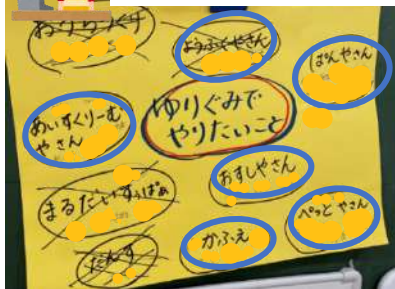
視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 1, 2歳児では、難しいかもしれないが、3歳児位になると、お散歩の時に小さなバックをもっていくと、その中に花や葉っぱ等を入れて楽しいと思う。
- 散歩の途中で見つけた物は、どんな物を見つけたのかな？どのように遊びに取り入れたのか具体的にすると、次の保育計画ができると思います。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

子どものペースで、発見を大事にするお散歩をしてるのかな。散歩の途中で見つけたものをどうやって遊びに取り入れているのか、保育者がどのような声掛けをしているのかをもっと知りたいなと思いました。

「お店屋さん！開店で～す♪」



運動会が終わり、達成感と自信に満ち溢れているゆり組さん。次は「お店屋さんをしたい！」という意見が上がり、やりたいお店に集まってグループで製作遊びを始めました。

看板を立てるために
試行錯誤中…



テープでは
落ちる…
色々なテープを試した結果、棒を立てると大成功！！



100円こんな
でいい？

英語の方が
カッコイね

チラシを切り抜き
友達とイメージの共有
リアルなパンがたくさん
出来上がりました♪



このパン美味しそう♪

友達とお互いの思い
や考えを共有し協力
したり工夫しながら
充実感をもってやり
遂げる協同性

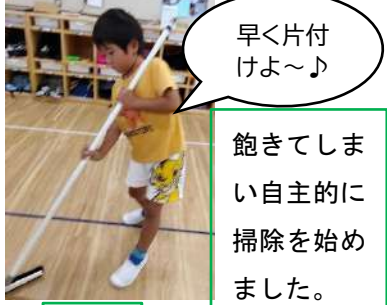
パンを取るトングや、
トレーも作りよりリアルな
パン屋さんへ。



僕が店長！

何にしようかな？

話し合っ
て店長が決まり
衣装も作りま
した



早く片付
けよ～♪

飽きてしま
い自主的に
掃除を始め
ました。
(´艸`*)

お持ち帰り用のお寿司・メニュー
表回転寿司のレーン・レジス
ター・カードリーダー・おまけのく
じ引き・猫用おやつのおちゅーも
中が出し入れ出来る作りになっ
ていたり、各お店にこだわり満
載の仕上がりになりました。



へい！いらっしやい！

- ・遊びの中で言葉による伝え合いをして心を通わせる中で人との様々な関わり方に気づき社会生活とのつながりを意識する。
- ・必要なものに気づき、値段を決めるなど数量への感心を持つ。
- ・豊かな感性で友達と表現する喜びを味わい意欲を持つようになる
- ・自信をもって行動するようになる
自立心

生活発表会でセリフも考えミニ劇にして生活発表会で披露しました。



犬と猫と金魚がいますよ～

運動会で1つのことを、クラス全体で成功できた喜びから、人間関係が深まり、共通の目的に向かって遊びを進めることの楽しさや充実感を味わい、友達と協力し遊びが発展していきました。

10 佐敷こども園

【お店屋さん！！開店で～す♪】 5歳児 ゆり組

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- 子ども達のやりたいことの引き出し方がとても良く、途中で変更になったことにも対応できている。
- 子ども達同士で話し合っ決めてたり作ったりして、それを生活発表会で発表したのが良いと思いました。
- 子ども達の声から試行錯誤しながら生活発表会までつなげることができている。保育者の思いが良く伝わってきました。
- やりたいお店屋さんを子どもたちに聞いて、そこからグループ分けをしていったというやり方が、子ども達の意見を聞いて一緒に行っている雰囲気が良いなと感じた。
- 子ども達の〈やりたい〉という声を聞いて、実際にやってみることができる様、環境構成や援助の工夫をしているところが良いなと思います。
- 作り物のレベル、服装までもこだわっていて子ども達が自主的に行っていたのだなと想像すると素敵だなと思いました。

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 自分たちで考える、決める工夫するなど、主体性や考えて行動する力が育っている様に感じました。
- 普段の生活の中で経験していることが遊びにつながっているなと思います。
- 協同性、アイディア、社会性、表現力
- みんなで話し合いイメージを共有するためにチラシを切り抜く等自分たちがやりたいこと〈表現〉。一緒にやろうとする〈協同性〉がとても素晴らしい。
- お店屋さんの道具を作る過程で自然と文字に関心が出たり、英語まで関わることでたくさんの事を知ることができただろうし、店長を決めたり。お客さん、店員役をすることで普段の友達との関わりと違った雰囲気があったりしたのだらうなと想像すると色々学べたのだと思います。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- あまり気が進まない子への対応も出来ている。
- 他のクラスの子や先生もお客さんとしてきたりしてももっと盛り上がって楽しそう。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

細部までこだわりたくなるくらい、楽しくてやりたくてたまらなかったのだらうなと感じました。子どもたちのやりたいことをひきだす話し合いがあったのかな。どれくらいの期間続いたのか、どんな試行錯誤があったのか、もっと知りたいなと思いました。

【1月のクラスだよ】ぞう組（4歳児）

令和6年

新年明けまして おめでとうございます。今年は「辰年」。保育園の玄関にいる登り龍（運動会で使用した旗頭をアレンジして子ども達と作りました）のように、強く優しく子ども達を見守り、願いをかなえていきたいと思っています。より充実した日々が送れるよう、今年もご協力よろしくお願い致します。

さて、運動会で「みんなでやった〜」という達成感を味わって、「自分ってすごい」という自尊心が持てるようになったぞう組さん。あれから仲間同士誘い合い、大縄跳び（回す人、跳ぶ人に分かれて）や鬼ごっこを自分達で楽しんだり、朝や帰りのお集まりも、その日のリーダーさんを中心に始めたりと、「自分たちでやろう」とする姿が、よく見られるようになりました。日々の生活の見通しを持てるようになり、考えて行動する力、仲間と過ごす楽しさが育ってきているのを感じ、嬉しいで気持ちでいっぱいです。

また最近では、クリスマスの袋作り（平織）をきっかけに何かを作るということに楽しみを覚え、様々な材料、クレヨン、ハサミ等の道具を使い、お友達と作品づくりを楽しむ姿が見られるようになりました。そこで、子ども達が作った物を他クラスの子、先生方にも見てもらいたいなと思い、「この作った物で、お店屋さんできそうじゃない？」と提案してみると、どの子も目をキラキラさせながら「やりた〜い」と大賛成。

それから皆で話し合い「おかし屋さん」「おもちゃ屋さん」「ご飯屋さん」をやることが決まると、毎日30分程度（午前の活動や午睡前等）コツコツと商品や看板作りに取り組んでいきました。

すると「お店さんの作りたいから早く〇〇しよう」「クレヨン使うから、テーブル、椅子、画板を準備しよう」等と見通しを持った行動も見られるようになりました。『お店屋さんをしたい』という1つの目標に向かって楽しみながら頑張る姿が一方、お片付けが苦手な子もまだ、まだいるので、そこは只今強化中です…。

12月27日の本番前に、ぞう組さんだけで「お店屋さん」をやった時、急にK君が「お父さん、やりたい」と言い出し、何故か「お家ごっこ」もプラスされ、お店屋さん（1グループ）に2家族（2グループがお客さん）が買い物にやってくるという面白い展開となって遊びました。

遊び終えた後、皆に感想を聞いてみると、第一声は「おもしろかった〜」でした。そこで、子ども達の思いを受け止めつつ、私を感じたことも聞いてみました。

担任「面白かったね。でも、みんなのお店屋さん見て どこに何があるが分かったかな？」

子ども達「わかりにくい」

担任「そっか、じゃお店屋さん行った時、どのようになっているかな？」

子ども達「ならんでいる」「えらびやすいようにしている」との声が出てきましたので、3つのお店屋さんをグループで分けてみることにしました。

すると、それぞれのグループが自分達の商品を並べ、中には「おかねを 入れるのも つくらないと」「サイフも あったほうが いいんじゃない？」等と経験を活かして気付いたことを伝えてくれました。

そして本番当日、「ドキドキする。お客さんくるかな〜」という不安からスタートしましたが、有難いことに めばえ保育園全クラスに協力して頂いたお陰で、どのお店も大繁盛!!

それぞれのグループが「自分たちのお店が 1番売れた。楽しかったね〜」とやり遂げた表情で大満足していました。

子ども同士、教え合ったり、力を合わせて取り組んだ貴重な体験をこれからも、もっと太らせて生活面（当番活動・係活動など）、集団あそび（手つなぎ鬼、Sケン等）ごっこあそびへと繋げていき、憧れの年長さんへ少しでも近づいていきたいと思えます。

☆ お店屋さんごっこ、当日は、ご飯屋さんにも宝石も出品されていました（笑）。

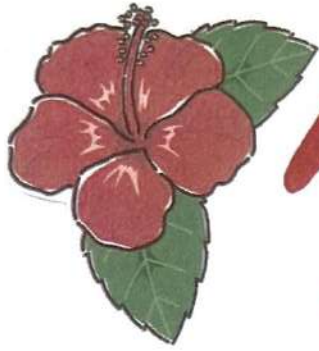
廃材集めのご協力もありがとうございました。

11 めばえ保育園

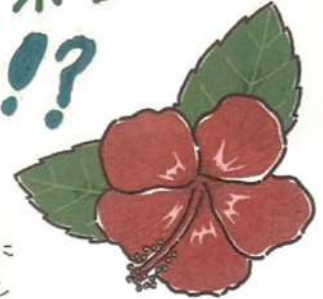
【クラスだより】事例3 4歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい
<p>○自分達でやろうという気持ちが育っていいね。</p> <p>○お店屋さんで大満足し、やり遂げたという達成感が育っていいね！</p> <p>○イメージからの思いですが、子ども達が楽しんでいる姿がとてもいいですね。</p> <p>○子ども達が何かを作る楽しい姿から、友達と作品作りを楽しむ姿から先生は「お店屋さんごっこできそうじゃない？」子ども達になげかけた。子ども達の姿からのスタートでいいですね。</p> <p>○子ども達のアイデアやつぶやきを先生が受け止めて保育を展開しているのがすごくいいと思いました。</p>
視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか
<p>○実際に経験したことを保育者に伝え、自分達で遊びを進め力が育っていると思う。</p> <p>○自分達で考えながらお店屋さんを楽しんでいるので、思考力の芽生えや協同性が育ちつつあるのかなと思います。</p> <p>○子ども達が、楽しく色々な作品作りを意欲的に進めている姿が目に見えます。お店屋さん品物はどのような物なのか見てみたい。（写真があるといいですね）</p> <p>○子ども達は自分の思いを言葉にして伝える事が出来ていますね。〈言葉〉言葉で伝え合う〈人間関係〉一つの目的に向かって協力して遊ぶ、協同性の育ちがあります。</p> <p>○お金が必要だ、財布もあった方がいいと気づいたことを伝え本番を迎えた子ども達は達成感もあると思います。〈思考力の芽生え〉○見通しをもって行動。〈健康な心と体〉</p>
視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか
<p>○文章で読むと丁寧に子どもの姿を読み取っているので写真が1、2枚でもあるとわかりやすいですね！</p> <p>○廃品も良いですが、本物の素材を使ってみると、もっと子ども達が目をキラキラさせるのでは？</p> <p>○文章からはお店さんの雰囲気や品物など想像の中なので、写真でその様子を見ることができたら環境構成の工夫など記入することができたと思います。（文章のまとめ方、いいね！）</p> <p>○1月のクラスだよりでは、4歳児なりの育ちが見られますね。その育ちを保護者にお知らせするのも保育園として重要な役目です。視点2で見られるような育ちを可視化する工夫をしてみてください。（遊んでいる様子を写真で貼る等）</p>
講師：宮城利佳子先生よりコメント
<p>お店屋さんには、お客さんも必要だと気づいてお家ごっこもプラスしたのですね。財布やお金を入れるトレイ、もっと本物らしくするにはどうしたらいいのかな？と考える子どもたちの姿が素敵です。絵本、実際の経験等からどんどん広がっていきそうだなと感じました。</p>



ハイビスカスの葉っぱで 感触あそび!!



りくみさんだったとき(12月)

園長先生から「ハイビスカスの葉っぱをちぎって水につけるとネバネバして感触あそびができるよ」と教えてもらい、初めての体験をしました。」

そして...
うさぎぐみさんになって
あそんでみました!!

葉っぱを取りに
Let's GO!!!



葉っぱでさ、
ギザギザ
してるんだよ。

大きい葉っぱ
たくさん取ろう!
どれがいいかな~

あれ!! 全然ネバネバに
ならないよ... 。

昔の人は
ハイビスカスの葉っぱで
あまる(シャンプー)してたんだよ!

あ! わかった!?
ちぎった葉っぱをぎゅぎゅと握って
みたり、手を洗うみたいに
ゴシゴシするとネバネバが
たくさん出てくるよ!

苦手だけど...
元氣張って角切
りたはさ、
たのしかった♡



すごい!
ネバネバして
手について
るよ~(o)



あまる屑やん
ごーすぽ!

シャンプーに
してあげよう!!

12 めだか保育園

【ハイビスカスの葉っぱで感触遊び】3歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい
<p>○ハイビスカスの葉っぱで感触遊びができるって初めて知りました。さすが園長先生、小さい頃遊んだ経験が生きています。いいね！</p> <p>○感触遊びというと市販の物が良く使われていますが、めだか保育園さんは身近な自然物を使っての感触遊びはすごくいいですね。自然物なので安全でいいと思います。</p>
視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか
<p>○成長（進級）したクラスで、同じ経験をする中でまた違った発想や気持ちにつながり刺激にもなり良いと思いました。</p> <p>○何にでも手で触ってみようという意欲が生まれただろうなと思います。たのしそう！</p> <p>○身近にあるがなかなか気づかないハイビスカスの葉を使って遊びに取り入れるのは良いと思います。5感を使った遊びはいろいろな刺激を受けて良いと思います。</p> <p>○ネバネバを出すためにあれこれ試している。分かったことを友達に教えたりシャンプーやお風呂に入ったりして楽しく充実感を味わっている。</p> <p>〈言葉による伝え合い〉〈自然との触れ合い〉〈健康な心と体〉</p>
視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか
<p>○ハイビスカスの葉っぱを握ったり揉んだりしてネバネバにしてお風呂屋さんやシャンプーにして遊びに活用している。次はどんな遊びを展開するかな？ハイビスカスの花を活用した遊びやネバネバを利用して納豆屋さんができるかな？子ども達から引き出したいですね。</p> <p>○今度は、身近にあるヨモギや月桃その他の自然物を使ってみるはどうでしょう。ネバネバの植物さがし、香りのする植物さがしなど子ども達の五感を刺激するような保育の展開があるといいですね。</p>
講師：宮城利佳子先生よりコメント
<p>身近なハイビスカスの秘密を知った子どもたちは、他の葉っぱでも試してみたいかならないかなと思いました。次はどんな展開になるのか、おままごと等に取り入れられるのかな。今後の展開が楽しみです。</p>



人参どうなってるかな～
あっ、土が濡れてないから水をあげよう！



大きくなってね～

『どうやったら人参大きくなるんだろう？』の保育者の問いかけに
「水をかけたら！」「雑草抜いたら！」「太陽がでたら！」…
「だったら雨がいっぱい降ったら大変だ！」
「じゃてるてる坊主を作ったらいいんじゃない？」と子どもたちの声で
人参の成長を願い、てるてる坊主作りが始まりました。

大きい新聞紙で大きい
てるてる坊主作ろ～っと



丸めるのちょっと大変



太陽が出るように赤に塗ろう！



できたー？手伝うよー！



太陽がでますように♡



新聞や折り紙など色々なものを使ってオリジナルのてるてる坊主が出来上がりました。丸めるの、つつむのが難しい子は先に出来たお友達に教えてもらったり手伝ってもらったりしました。飾ったあと数日晴れが続き、「てるてる坊主のパワーだ！」「でも水もあげないと！」「人参お空まで大きくなったらどうする？」など人参の生長がますます楽しみな様子。

～～子どもの育ち～～

- ・協同性
- ・豊かな感性と表現
- ・思考力の芽生え
- ・自然との関わり
- ・生命尊重

13 馬天保育園

【人参おおきくなあれ～】4歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- 先生の声掛けで子ども達自ら考えることができとても素敵です。
- 環境もすぐに作られる様に整えられているのだろうと思った。
- 人参を大きくするために、必要なものをクラスの皆で考え一致団結して太陽が出るように”てるてる坊主”作りに行動した子ども達は素敵ですね。
- ただ水やりをしているのではなく、土が湿っていないことを確認して、水やりをしている姿がとても素晴らしい！！
- とても見やすく、わかりやすい保育ドキュメンテーションでいいね！

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 友達との言葉のやり取りから自分の思いや考えを伝えたり相手の思いを聞く力が育ったりすると思った。
- 人参が大きく生長するためには、太陽が必要だという事を4歳児が知っていることにびっくりです。（思考力の芽生え）
- 皆で決めた事を行動に移しそれぞれが役割分担をして、人参を大きくするという事に力を合わせている。言葉による伝え合いや、共通の目的に向う協同性の育ちが伺える。
- 栽培活動を通して、自然事象、虫、雑草など自然との関わりが育つと思う。
- 友達との関わりが増え、コミュニケーション力も育つと思った。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 先生が子どもたちの姿を読み取る事が上手なので、子どもの声を聞いて環境を再構成して行って欲しい。もっと広がっていくと楽しそう。
- 人参を大きくなるためには、太陽も必要だが雨が降らないと野菜は生長しない。（農家さん）は困ると思います。その事を子ども達に、どう気づかせどのタイミングで気づかせるか。
- 人参が大きく生長するために、太陽を作ることに集中している。「でも水もあげないと」という子ども達の言葉も出ているので、もう一度水やりの大切さについても話し合ってみてはどうでしょう。
- 子どもの声から「太陽」や「雨」が出ているので、自然事象（雲・雨・風・星等）に視点をおいて保育をすると、子ども達からいろいろなアイデアが出て遊びにつながるのではないかと思います。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

「お空まで大きくなったらどうする？」と想像する子どもたちと大きな人参の絵本を作りました♡今度は、何を栽培するのかな？卒園するまでには、植物博士になれそうですね。

ある日、「キジムナーってなあに？」とキジムナーに興味を持ったI君。分かりやすいお話はないか調べると「キジムナーのキジムナー」という絵本を見つけました。その絵本を1回読むと、皆すぐにキジムナーを気に入り、毎日のように「せんせーい、キジムナー読んでー」とリクエストが。それからキジムナーのお家作り、なりきり遊び、お招き会での発表まで発展していきました。

キジムナーのお家を作ろう♪♪



よしよ、よしよどこ運ぶ

ここでいいかな〜…



ここ持ってー



キジムナーはおならがきらいなんだよー

お家のかんせ〜い♪♪↓



↓お招き会でチョンチョンキジムナーを披露したよ



見てー僕たちキジムナーだ

キジムナー最高♪

キジムナーは魚が好きなんだって♪



キジムナーのご飯↑

- ・キジムナーの絵本を見てお友達と試行錯誤しながらの家作り〈思考力・創造力・向上心の育ち〉
- ・創意工夫してより頑丈な家作り。テープはどれだけ必要な？テープ切りは順番ね
〈言葉による伝え合い・共同性・数量への関心・道徳性・自立心の育ち〉
- ・キジムナーの好きなご飯作り。魚が好き、家族は何人？〈健康な心と体・生命の尊重の育ち〉
- ・お招き会で発表〈豊かな感性と表現の育ち〉
- ・キジムナーのお家で暴れたら壊れちゃうね〈社会生活との関わりの育ち〉

14 南城みなみ保育園

【キジムナー大好き♡】 4 歳児

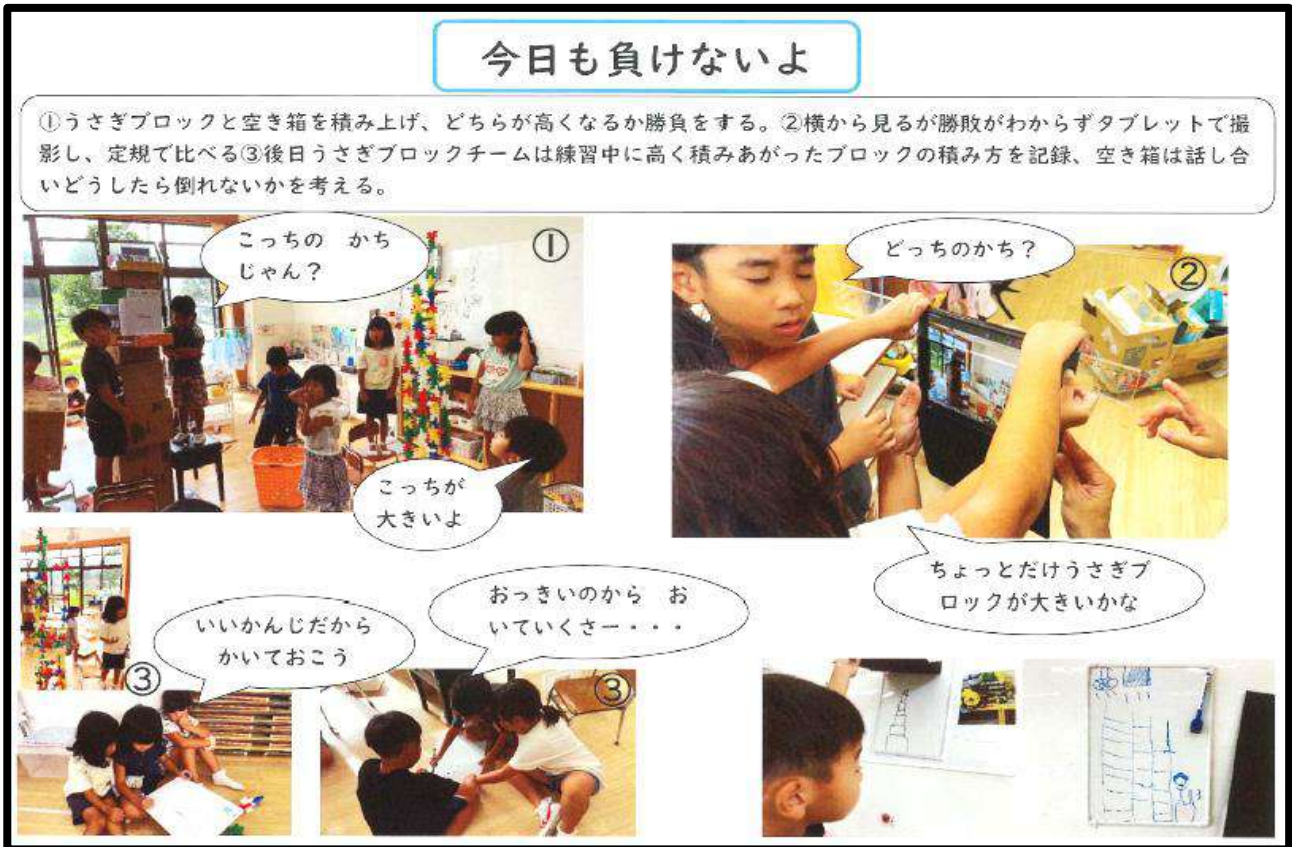
参加者からのコメント

視点 1 : 「いいね」を思いのままお書き下さい
<p>○子ども達の興味→遊び→表現（発表会）つながりが素敵です。</p> <p>○子どもの「なあに」という興味をしっかり拾い、遊びの展開に繋げた事が凄いです。キジムナーの事を知り、大好きになったからこそ、人前でも自信をもって、楽しく表現できたんですね。</p> <p>○絵本を何度か読んでもらいキジムナーのイメージが湧いてきたのでしょうか。そこを保育者がキャッチしてキジムナーのご飯作りやお家づくりに使う材料や段ボールなど準備して子ども達のやりたい事を実現させているところがいいなと思います。</p> <p>○ダイナミックに大きな段ボールでお家づくりに取り組んでいるところがいいですね。</p>
視点 2 : 子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか
<p>○キジムナーのお家づくりは大きな段ボールのため一人ではできない。学級の仲間と力を合わせて屋根のある頑丈な家を工夫しながら作っている様子から協同性や思考力の育ちを感じます。</p> <p>○キジムナーの好きなご飯を調べて魚作りをする姿から、想像力を働かせてその世界を楽しんでいる。豊かな感性と表現の育ちにつながっていると思います。</p>
視点 3 : 遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか
<p>○絵本との組み合わせがとてもよく、子どもが夢中、ガジュマルの木をもっと重視してみたいかな？</p> <p>○キジムナーはどこに住んでいるか？民話なども読み聞かせももっとイメージを広げるとキジムナーの世界が広がると思います。（いろいろなキジムナーの絵本を読み聞かせ）</p> <p>○お招き会後のキジムナーごっこはどうなったか知りたいですね。</p> <p>○キジムナーの家の中は見えませんがどんな工夫があったか知りたいです。できれば中の写真も張り付けると子ども達が何にワクワクしていたか、読み手に伝わるとと思います。キッチンや寝る場所なども作られていたのかな？と想像しています。</p>
講師：宮城利佳子先生よりコメント
<p>子どもに何か聞かれたときに保育者がすぐに答えを教えるのではなく、絵本を使うことで子どもが「自分でわかった」ことになるのだろうなと思います。面白いと思ったら、まずは子どもが作り出すところがいいですね。今後もっと発展していくのだろうと楽しみになりました。</p>

15 大里こども園 【共同作成(4学級)

保育教諭ドキュメンテーション】 5歳児

①遊びを読み取る写真と読み取り表を回覧する。



園児のつぶやき、遊びの様子を記入した写真を、読み取り表と一緒に年長担任 8 名に回覧し、(読み取り)(教師の願い)(環境構成)を記入する。

②写真を読み取り、表に記入する。


読み取り表

令和5年 月 日()		タイトル【 】							
		担任1	担任2	担任3	担任4	担任5	担任6	担任7	担任8
理解に基づいた援助	O (読み取り)	O (読み取り)							
	A (教師の願い)	A (教師の願い)							
	P (環境の構成)	P (環境の構成)							

	担任A	担任B	担任C	担任D	担任E	担任F	担任G	担任H
〇 (読み取り)	友だちと高さ比べることを楽しんでいて、また合うことを楽しんでいる。どうやら勝つのが友だちと相談したり、石が突いたら...	タブレットで写真撮り、紙と紙で定規を使って比べている。①	相手のチームに高く積むのが、友達と相談し合っている。②	相手のチームに高く積むのが、友達と相談し合っている。③	自分より高く積むための方法を考え、高く積むようにイスやピアノのイスにのぼり、工夫している。④	自分で高く積む方法を考え、高く積むようにイスやピアノのイスにのぼり、工夫している。⑤	友だちと勝負の結果を話し合ったり、今日の結果を友だち同士で絵に描いて次の勝負につなげている。⑥	うさぎブロックは、高さを測るために、細い棒や紙を積み重ねて、高さを出している。⑦
A (教師の願い)	友だちと自分の高さを比べ合ったり、友だちの意見に耳を傾けたりして、お互いに高め合っている。	子どもたちが話し合っていて、高さを測る道具やテープを巻いて、空気を抜いている。	話し合いの中で、友だちの意見に耳を傾けたりして、お互いに高め合っている。	相手のチームに高く積むのが、友達と相談し合っている。	たくさんの子が関わり、もっと高くなってほしい。	くり返し勝負を楽しみ、お互いに高め合っている。	箱を縦だけに積むのではなく、ピラミッドの様に横にも広げながら高く積んでほしい。	他の友だちと高さを出して、高さを測っている。⑧
P (環境の構成)	大きい、小さいの異なるサイズの箱やブロックを用意している。	大小様々な箱を用意している。他のクラスの子どもも勝負がしたい様子が見られる。	大小、縦横高さの異なる箱を用意している。思い思いの積み方に挑戦している。	同右	箱やブロックだけではなく、身の周りのものを活用して、高さを測る工夫をする。	箱やブロックだけではなく、身の周りのものを活用して、高さを測る工夫をする。	思い通りに活動できるように、十分な箱の準備。	素材を用意しておく。他のクラスの子どもも興味がある様子が見られる。

③読み取りのまとめを挿入し掲示する

どっちが たかく つめるかな？




子ども同士で互いにアイデアを出し合って遊びを進めています。

こっちが大きいよ

こっちの勝ちじゃん？

①うさぎブロックと空き箱を積み上げ、どちらが高くなるか勝負をする。

椅子に乗って高いところを担当している子や、自分たちより高くなったものを、さらに高く積むための工夫が見られます。




南城市立大里こども園 5歳児
令和5年10月17日

どっちの勝ち？

自分のチームの勝ちを主張するのではなく、正確に見極めようとしています。

ちょっとだけうさぎブロックが大きいかな


②横から見るが勝敗がわからずタブレットで撮影し、定規で比べる。



いいかんじだからかいておこう

おっさいのからおいでいさー...

友達同士で今日の結果を絵に描いて次の勝負につなげています。



自分たちが書いた絵を参考にしながら、高く積むにはどうしたらよいか友達と話し合っている様子が見られますね。

③後日うさぎブロックチームは練習中に高く積みあがったブロックの積み方を記録、空き箱チームは話し合いながら倒れないかを考える。

箱やブロックを積んで遊ぶ中にも、子どもたちのアイデアがいっぱいですね。自分の考えを相手に伝えたり、相手の意見を遊びに取り入れたりしながら、競い合う姿が見られました。

教師の記入した(読み取り)(教師の願い)(環境構成)をはじめの写真に書き込み仕上げる。

考察

- 相手より高く積むためにはどうしたほうが良いか友達と考えを出し合いながら遊びを進めることで、【協同性や思考力の芽生え】【言葉による伝え合い】が育まれると考える。
- 定規を使って高さを調べたり、絵に描いて表現したりすることで【数量や図形、標識や文字などへの感覚】や【豊かな感性と表現】が育まれると考えられる。

15 大里こども園

【共同作成 4 学級】

視点 1 : 「いいね」を思いのままお書き下さい
<p>○子どもの姿を読み取る工夫がいいね。 子どもの姿を読み取り、先生方で共有する事で子ども理解が深まるいいね。</p> <p>○職員同士で表に記入する事で環境構成や援助が共有できて良いなと思った</p> <p>○遊びや子どもの姿を、読み取りを使って職員間で共有できているので良かったかなと思った。</p> <p>○子どもの育ちを、文言化する所がいいね。</p>
視点 2 : 子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか
<p>○読み取った姿を共有する事で、個々にあった援助ができる。その事で子ども達の思考力の芽生え等が、伸びてきている。</p> <p>○写真の共有の仕方は、参考になりました。子ども達の姿が、多角的に読み取る事ができますね。</p> <p>○遊びの続きや工夫が伝わってきた。振り返りが各々見られ次の活動にも繋げていけるのでは？</p>
視点 3 : 遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか
<p>○子どもの姿の読み取りや保育の振り返りが自園の課題でもあるので、参考にしたい。どのようにやっていますか？ 先生方の話し合う時間のヒントがもらえたら嬉しいです。</p>
講師：宮城利佳子先生よりコメント
<p>園全体でドキュメンテーションを検討する工夫を教えていただきありがとうございます。タブレットや定規の発想はどこからでてきたのか、もっと知りたいなと思いました。結果を記録している姿もいいですね。記録が大好きな子どもたちっていいなと思いました。</p>

心がかよい合うわらべうたあそび〜♪

ひよこ組
1歳児クラス

日々の保育の中でたくさんのわらべうたあそびを楽しんでいる子どもたち!!



① タオルに赤ちゃん人形をのせ
「グランドゆれて〜とゆらしたから
わらべうたあそびをほいめた
2人の女の子!

② ほいめは、タイミングが合わず
何度も赤ちゃん人形をおとし
しまう2人!

「赤ちゃん人形
びっくりする〜」



「ゆっくりねー
そあ〜と
そと〜!」

「びっくり〜!」



③ 息を合わせながら上手にゆらして
あそびこたかできました。
自分たちが、やってもらって体感した
心地良さの経験をしっかり相知にも
やってあげてくれる優しさがある
ことに感謝するひと場面でした。

「ころんだの〜?
「びじりるの〜?」
「いたいいたい
とんでいけ〜」



「次〇〇もやって〜!」



言葉のやりとり、社会性、人間関係
わらべうたを通して、様々な
育ちにつながっています。



♪むっくりくまさん 穴の中〜♪
みんなでイメージを共有して〜!!



くまさん
ねんね
〜!!

16 あおぞらこども園

【心がかよい合うわらべうたあそび♪】 1歳児

参加者からのコメン

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- 保護者にやってもらっていたことを自分たちで再現遊びをしている。暖かさが伝わっていいですね。
- わらべうたをうたいながらが素敵。心にしみこんでいる。
- 普段からわらべ歌を保育に取り入れているのが良い。
- 保育とわらべうたを楽しみながらスキンシップを図っていることで子どもたちの心が安定してのびのびとわらべうたを楽しんでいる。
- 歌のイメージを体で表現する楽しさを味わえる援助がいいね

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- わらべうたを通して豊かな心がきっと育ちますね。優しく相手に合わせることを遊びの中から学んでいる。
- 友達や保育者と親しみや関わりを深め、愛情や信頼感が芽生えたと思います。
- 友達とわらべうたのリズムに合わせて歌うことで友達と一緒に遊ぶことを味わっている。
- 先生との愛着関係ができています。他の子と一緒にしてお人形を使い自分がやってもらって心地良い体験を人形にやっている優しさが育っている。
- 「いたいいたいのとんでいけー」普段自分がされたことを友達にもしているところで友達と思いやる優しさが育っている。
- 身近にいる保育者との暖かい関係ができていて自分がしてもらったことを赤ちゃんにしてあげる優しさが育っている。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- わらべうたを取り入れていてとても良いですね。子ども達もいやされていると思います。何のわらべうたを歌ったのか、事例の中に記述があると参考にできると思います。
- 互いの顔が見える距離で歌を楽しむことで気持ちが通い合う援助をしている。
- タイトルにもあるように「心が通い合うわらべうた」はさまざまな育ちにつながります。沖縄のわらべうたも取り入れたらどうでしょうか？ 4、5歳児にも遊びに取り入れる。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

わらべうたが日常生活に根付いているのが素敵ですね。言葉と動きが結びついて、園全体の文化になっているのだなと思いました。わらべうたで育った子どもたちが、園内外の経験を遊びに取り入れ、その世界をさらに広げていくのが楽しみです♡

17あおぞら第2こども園 【畑作り、ジャガイモ大きくな〜れ！】

2歳児(うさぎ組) 2023.1~2024.01

夏頃に植えた野菜がうまく育たなかったので、11月頃から草の根っこ取りや土を耕して肥料を加え、今度はジャガイモの種イモを植える体験をしました。

大人が畑を耕していると、子どもたちも砂場のスコップを持ちだして一緒に土堀りしました。



途中から雑草の根っこを見つけて引っこぬいたり、スコップを置いて手で土をいじりだして、興味津々のこどもたち。

これ(土)バラバラになった〜



何かいる！
ミミズかな〜

畝うねを大人が作ったので、ジャガイモの種イモを植える事にしました。穴を掘って種イモを植えたら「優しく土をかぶせてね」「土のお布団かけるんだよ」

『お布団みたいに』ってこうかな？



『優しく』ってトントンするのかな？

ここに入れるのかな？



<環境>
身近な環境(畑)に親しみ、触れ合う中で土や根っこ・ミミズ等に興味を示し関心を持つこどもたちです。

年末にはちょこんと芽を出していたジャガイモを年明けに見に行くとみごとに大きく生長した葉になりこどもたちも大喜び。

大きくな〜れ

あ！かたつむり



あ〜、葉っぱ大きくなっている！



<水かけ>

自分で水をバケツに入れてじゃがいもの葉に水かけするこどもたち。両手でバケツの淵を持って水運びや水かけする姿から腕や手指の力がついたと感じています。

17 あおぞら第2こども園

【畑作り、ジャガイモ大きくな～れ】2歳児（うさぎ組）

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- ジャガイモを植えて、水かけして大きくなっていくことが見れて子どもも大人も楽しそう。
- 栽培活動体験ができて、いいね！
- 子ども達が、夢中になっている姿がいいですね。

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 大きなバケツを持っての水かけ、ケガしないかな～と思ったりするのですが、自分でバランスを取ったり、水の量も自分で考えていくのでしょうか。
- 水や土の感触を味わい、五感が刺激されること。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- ジャガイモが生長する過程の上で、表現活動につながるような言葉かけや援助をする
といいのかなと思う。
- 園庭の一カ所にジャガイモの葉を置くことで、葉に触れる機会が持てると思います。
また葉の感触を味わい、葉の大きさの違いを知ること、砂場でのままごと遊びに展開
していきそうです。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

栽培活動は、土遊びにもなったのかな。砂との違いにも気づいたのかなと思います。土の中には、根っこがあったり、ミミズがいたり、実際に触ってみると気づくことがたくさんあったのでしょうか。繰り返し関わって、大好きになった畑で、今度はどんなことを知りたくなっていくのかな。

こおりが、とけてるよ

・園庭に咲いている草花をみつけ、花摘みを楽しむ。

松の実こども園 2歳児



これがいいんじゃない？

あさがおもあるよー

どのおはないれようかなー？！

□園庭で自由に花摘みできるように草花を植えた。



あおいおはなにしようっと！

□花摘みが楽しめるように、1人ずつ入れ物を用意した。

・集めた草花が固まり氷遊びをする。



おはながはいってる！！

こおりだー！！

なにこれ???

◎すぐに氷と気づく子、「何だろう？」と不思議そうに見ている子がいた。
前日に集めた草花が固まり、触ってみたいと興味津々だった。
★自然との関わり・生命尊重

□牛乳パックに入れた草花に水を入れ、冷蔵庫で固め氷にした。

・触ったり、とけて水になる様子に気付く子もいる。

◎氷がとけ出し青色に気付く氷の中の花が取り出せないことに気づく子がいる。
★数量や図形の関心



まわるよー！！

つめたーい

みててよー👀
もてるよー



あおくなってるよ!!

はっぱがたくさんだよ!!

すごーい!!

おはなとれないよー!!

こおりが、とけてるよー!!

いいでしょ!!



われたよー

◎園庭で遊んでいる他のクラスの子や先生に伝える。
★言葉による伝え合い

ねえ、みてー! こおりだよ

・タライの中に水がたまり、中に入って、足を入れる子もいる。

みずになってるー



はいってみよー!!

つめたーい

◎友だちと一緒に「冷たい」「水になる」と気づいたことを共感し合っている。

★協同性
・一緒にタライを運んで移動し、氷が溶ける変化を観察している
・友達と一緒に活動することで、楽しいという体験を通し、友達がいる事の楽しさや大切さに気付く。

18 松の実こども園

【こおりが とけてるよ～】松の実こども園 2歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- 花摘みができる環境が整えられていいね。子どもの興味が広がるとも思います。
- 色水だけでなく、固めた氷を通して言葉により伝え合いもでき、お友だちと一緒に活動することで楽しさを共感、共有できることはいいことだと思った。
- 様々な草花のある環境がとてもいいです。

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 牛乳パックに入れた草花が氷になって、あ！又、水になって、あら不思議と子ども達の好奇心が旺盛になるのでしょうか！
- 氷が解けて、水になる変化に気づくこと。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 太陽のあたる場所へも行けるようにして「つめたい」「あたたかい」を楽しめるとどうでしょう？
- 牛乳パックに入れた草花に水を入れて氷にした過程が記入されているといいなと思います。
- 氷にしようという発案の流れが知りたいです。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

花摘みが楽しめるようにと保育者が工夫することで、園庭に咲いている草花が集める対象になったのでしょうか。氷遊びは初めての経験だったのかな。後日、またやってみたい、やってみよう！になったのだろうなと想像しました。

手作りすべり台

5歳児 愛護保育園



よし！
もっと、高くし

みんなで砂山作りを楽しみ、おおきな山が完成。山登りやジャンプをしたりしてあそんでいました。しばらくあそんだ後、1人の子が“すべり台にしよう”と提案し、みんなで考えた結果、ダンボールを使ってすべり台をつくる事になりました。

実際すべってみましたが、思ったよりすべりが悪い状態でした。みんなで相談して、高さを調整し、やっと納得いくすべり台が完成！



高くしてるから、
少しまってね

わあ～
たのしい～

とても楽しそうにあそんでいる姿を見て、他のクラス(年下の子)もやりたいと、自然に行列ができました。

おねえち
ゃん
いくよ～

- * 思い通りの物を作りあげること、満足感を味わい、小さい子への思いやりも育むことができた。
- * 異年齢交流を楽しめた。
- * 協力して作りあげる楽しさを味わえた。

19 愛護保育園

【手作り滑り台】

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい
<p>○みんなで協力してすべり台を作っているのが、楽しい思い出として残るなと思った。みんなで工夫して、協力しながらすべり台をつくり、楽しい思い出にもなり、達成感も味わえてイイと思った。</p> <p>○砂場では砂山作り、大きな山登り、ジャンプなどの遊びを経験したあと、滑り台を作り始めている。色々な遊びを経験したことで思いついたのでしょう。年少児（小さい組）も一緒になって遊びとても楽しそうでいいですね。</p> <p>○保育士や大人にさせられた遊びではなく、幼児が主体的に遊んでいる姿がいいですね。</p>
視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか
<p>○お友達と協力して一つのことを作り上げるので、協力することの大切さを学べると思った。</p> <p>○滑りやすくするために高さを変えたり、実際に滑ってみたりしている。</p> <p>○考えたり工夫したり試行錯誤することで、思考力の芽生えが育ちつつあると思います。</p> <p>○豊かな経験があったからこそ思いつき、やりたい事を見通してやり遂げる満足感や充実感を味わう事が出来ている。健康な心と体の育ちがあると思います。</p> <p>○小さい子（年少児）にも楽しませてあげるために頑張っている5歳児は頼もしいですね。</p>
視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか
<p>○この後に溝を掘って水が流れるようにしても楽しそう。</p> <p>○すべり台やトンネルに水を流したりすると、遊びがさらに広がるのではないのでしょうか。</p> <p>○砂場の側に様々な素材を置き、子ども達がすぐに手に届くような環境構成をすると、遊びが広がるし、遊びが深まると思います。</p> <p>○段ボールが砂場近くに置かれているのはいいと思いました。意図的に先生が置いたのか、先生の意図的な環境が子ども達に主体的な遊びの展開につながると思います。</p>
講師：宮城利佳子先生よりコメント
<p>滑り台を作ろうという発想が素敵ですね。これまでも自分の発想を形にするという経験を積んできているのだろうなと思いました。どうしたらよく滑るのか、工夫することができるのも、これまでの経験からなのでしょうね。もっと長い滑り台、物を転がしてみる、何秒で滑れるのか数えてみる等、どんどん広がっていきそうだなと思いました。</p>

20木の国保育園

【イメージしたことを楽しく作ってみよう】 5歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- イメージを広げてどんどん展開していく子ども達の生き生きした表情が素敵ですね。
- イベントをきっかけにどんどん広がる子ども達のイメージがすごい。
- 工夫しながら物づくりをする目がキラキラしていいですね。
- ハローウィンからお菓子作り、お店屋さんごっこにつなげ更にヘンゼルとグレーテルの発表会へと発展したことでとても素晴らしいです。いいね！！
- 10月ごろから、12月下旬まで遊びは広がり深まっていますね。子ども達が主体となり遊びが面白いから楽しいから遊びが継続しているのでしょうか。
- 子ども達の興味関心が保育になっている感じでいいですね。(小職員)
- 廃材を利用し、子ども達が協同で遊んでいる姿、笑顔いっぱいの姿がいいですね。(小職員)

視点2：子どもの姿(この事例)からどんな育ちがみられますか

- 自分たちで作ったから大切に扱えるようになるでしょう。
- イベントを通して遊びが発展していく中で、自分たちでアイデアを出し合ったり相談し合ったりする姿は、いろいろな場面にも今後つながっていくと思う。
- ハロウィンパーティーの「お菓子」からヘンゼルとグレーテルの絵本の世界へと「お菓子」の家作りへと、子ども達の興味は果てしなく続き、一人一人が生き生きと輝いている様子が伺えます。(協同性、思考力の芽生え、言葉による豊かな感性と表現)等の育ちを捉えることができます。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 子ども達の「やりたい！」を大事にしながら進めていくことで、イメージが膨らみどんどん新しいことへのチャレンジが広がっている。
今後、どんな遊びが広がるか楽しみです。
- 10月頃から12月下旬まで続いた遊びは子ども達の自信になりましたね。満足感や達成感を味わったことでしょう。次は年少児や年中児さんへ伝えたい事、やってあげたい事を子ども達を子ども達に問いかけて一緒にやってみてはいかがでしょうか

講師：宮城利佳子先生よりコメント

子どもたちの思いで広がる遊びが、他者ともつながり、長く続くようになっていっているのですね。子どもたちが自分で進めていると実感できるように、でも、もっと楽しくなるように「少しのヒントやテーマ」等、援助の方法を考えているのだろうなと思いました。

みんなでチャレンジだ

5歳児かもしか組

作成日1月17日

1泊2日のお泊まり保育。「みんなで力を合わせて ご飯を準備しよう」
、「野菜を切る人、かまどの火を起こす人、ゆし豆腐の大豆を挽く人、ちょっと考えて自分がやりたい事を決めてね」との施設の方の声かけで自分で決めた仕事にチャレンジ！



よし！
薪の準備は
まかせとけ



子どもの姿
☆自分のやりたい仕事を自分で決める。
☆決めた仕事に挑戦！
☆自分の役割を楽しむ。
☆体験し感じた事を友だちや保育者と言葉で伝え合う。

ちょっと怖いけど
がんばるぞ

豆腐って こうやって
作るんだね



海辺で揃ってのご飯
は
美味しいね～

かまどの火おこし
がんばるぞ～

ゴボウとかぼちゃって
こんなに 固いんだ



『幼児の育ち』
◎自分で決めて挑戦する。◎自分で体験し、発見したり、気づく。
◎自分で考え、友達と関わる中でお互いの思いや考えを共有し、共通の目的の実現に向けて行動する。
◎考えたり、工夫したり、協力したりと充実感を持って やり遂げる。
◎危険な事を知り、自分の身の安全に注意しながら行動する。

21 むぎの子共同保育園

【みんなでチャレンジ】 むぎの子共同保育園 5歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- 自然での体験、いいね！
- 自分達で食べることを最初から関わることで、食育に繋がるいい機会だと思う。仕事を自主的に取り組み、責任を持って楽しめるといいですね！
- 自然の中での体験、いいですね。
- 自然の中での泊り保育がステキ。食育への取り組みが目に見えて良い。

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 自分の役割をやり遂げる集中力。協同性。
- 自分でできた、できる成功体験ができ、自信が育つ。みんなで作る作業をする。協同性。
- ご飯の準備、日頃家では母さんがしてくれている。ご飯の準備、自分達で体験してお母さんのありがたさを感じてくれたのかなあ。火の扱い方、まき割の体験。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 火おこしの経験を生かして園で実際にかまどを作ってみては？
- 事前に何を作り食べたいか、子ども達から案を出し合い、必要な材料まで決めてみる。
- 1泊2日で体験した事を自分なりの発見、協力し合える大切さ、また火の取り扱い方を知ることが出来る。そして、持ち場の話し合い、苦労したことを家族の方や友達に話をしてみてもいいですか？
- 広がるには、やっぱり話し合いが大事！！なので、みんなの思い、考えをよく聞いてみよう。
- このドキュメンテーションから子ども達の協同性が育っていると感じます。その協働性が見られるような、遊びの保育ドキュメンテーションが見てみたいと思いました。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

子どもにとっての特別な体験が、この後の遊びにどのように取り入れられたのかをもっと知りたいなと思いました。キャンプごっこ等、園での製作につながっていくと楽しそうですね♡

てんとうむし み～つけたあ



みてー
なにがいるよー



わあー
なにこれ～？

てんとうむし
だよー



みんなー
てんとうむしいるよー



あっ！にげる

てんとうむし
どっかいこー

これは！？

フープを持るときと
逃げないように置いた



あっ！つぶれる～
ふまんじよ～

(足の指先にてんとうむし)



わいこのつたー
うごいてるー
くすぐったーい



なにかぞときたよ
なにかな～

(てんとうむしの羽がぞときた)



ドキドキ キャー
キャー

あーとびもう～
とぶかなー



あっ！とんだー
どこいったかなー
また、くるかなー

1歳児 すみれ組

最近では、言葉のやりとりが増え
遊びの中での表現が豊かになり
友達同士、関わる姿が日々見られる
ようになりました。
一人ひとりのつぶやきを受け止め
これから楽しく関わっていきたいと思います。



22 おひさま保育園

【てんとうむしみーつけたあ】 1歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- 小さなてんとう虫の発見にみんなが興奮している姿がステキだと思います。よく近くで「見たい！！」が感じられる。
- てんとう虫に興味津々の子ども達。いいね！
- 地面に顔がくっつくくらいてんとう虫をじーっと見ている姿がとてもいいですね。

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 実際に自分自身で体験集中し、“あしにのったー”“ふまないで”“とんだー”等、行動と言葉が重なり、言葉の育ちにつながったり共感することで友だちとの関わりも育つと思います。
- 虫に興味をもっている様子。他の子たちも影響し合っている様子。気持ちを言葉にできる様子。
- てんとう虫を通して、自然との関わりが育まれている。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 真似っこ大好きな1歳児なので、てんとう虫のまわっこあそびやみたて、つもりあそびの発展も楽しいかと思いました。
- 草花や虫のいる環境がうらやましいです。次に向けて図鑑等で調べたりとする環境も欲しい。
- 畑や広場などで他の虫も探してみる。図鑑や絵本の用意。ドキュメンテーションをクラスに貼る。
- シンプルで見やすいです。（ ）の部分に展開があるので分かりやすい。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

保育者のテントウムシを子どもたちに見せてあげたいという気持ちが、1歳の子どもたちがテントウムシをみんなで観察する姿へとつながったのだろうなと感じました。子どもたちの小さなつぶやきを丁寧に拾っているのがいいですね。

大きなかぶ物語

3歳児クラス きりんぐみ

11月。とある日常、園庭にて子ども達の様子



「発表会なにしたい？」
「大きなかぶ！！」

美味しい
のかな？

絵本の最後のページを見た子ども達が・・・「それじゃスーパーに買いに行って食べてみる？」「うん！」

かぶってどうやって食べるの？



幼児の育ち
公共の施設を大切に利用する



幼児の育ち
絵本や物語に親しみ、興味を持って聞き、想像する楽しさを味わう

大根みたい

幼児の育ち
友達同士で表現する過程を楽しんだり、表現する喜びを味わい、意欲が高まる

12月 発表会『大きなかぶ』



みんなで力を
合わせて
ひっぱるぞ！

自分達でかぶを育ててみることに！

おおきなかぶに
なるよういっぱい
お水かけなきゃ！



野菜が苦手なNちゃん。
この時は自分達が育てたかぶを見て「美味しそう」とつぶやき、水洗いも率先してやっています♪

楽しみ！
わくわく♪

いくよ～！
B手伝って～
うんとこしょ！

1月 小かぶ収穫

白くなって
きた～

いいよ！



見せて！
見せて！

幼児の育ち
食べ物への興味
関心友達と喜びを
共感する

抜けた！
かわいい～



23 輝咲保育園

【大きなかぶ物語】 3歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- 絵本から遊び、遊びから食育につながっているのがいいなと思いました。
- 子ども達の好きな絵本を通し、イメージを広げて発表会へつなげたり、食育にもつながったりするのが良かった。
- 保育園でカブを植え収穫までして、お友達と力を合わせて栽培して自然との触れ合いや実際のカブでごっこ遊び「大きなかぶ」ごっこが始まり楽しい園生活を送っていますね

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 自分たちで大事に育てることの大切さを知る。
- 絵本から興味を持ち、スーパーで買い物をしてカブを食べることにつながり、さらに生活発表会で「大きなかぶ」の表現遊びを保護者へ発表したことは、満足感や達成感がありますね。
- 絵本から生活発表会へ生活発表会からカブの栽培へと面白いですね。カブ栽培では大きなかぶの絵本の再現をしたり、普段の生活の中でも表現遊びを楽しんだり最高ですね。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 子どもの遊びを見守る中で保育士が、どのように遊びを発展させたらよいか？常に子どもの視点で寄り添う意識 その為に環境の見直し、工夫を職員間で話し合う 各クラスの遊びの状況をみなで周知する。
- 自分達で育てたカブをどのように料理したらいいのか。子ども達と話し合ったらどうでしょうか？いろいろな意見がでてきたら面白いと思います。その後の保育の展開が楽しみです。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

絵本、実体験、遊びが重なっているのがすごくいいですね。身近な世界だけでなく、絵本の世界も子どもの世界になっていく。この経験の積み重ねは、子どもが絵本や情報を深く考えることへとつながっていくのだろうと思います。

！みんなで挑戦！！

🌸 ルールのある遊びにチャレンジするちりん組さん。
 以前は、「ドッジボールがしたい!」と保育者にルールを教えるまもらいながらのスタートでしたが...
 今度は、「リレーがしたい!」と子ども達。
 「バトンは 片付けちゃったけど...いいよ」と声を掛け見守っていると

子ども達で縄跳びの紐を使っコーナー作り



1.2.3...
 1.2.3...
 同じ人数いる??



4歳児

2つのチームに分けて!!!



👉 廃材コーナーからトイレトパーの芯を取りバトン代わりに!!!

- 2つのチームに分けて、同じ人数になるように誰と誰が一緒に走るのか子ども達で考えリレーを楽しんでいます。

ゴールテープがないことに気づいたY君。縄跳びの紐をゴールテープに見立てゴールテープをあげるタイミングを見ています。

ぼくがゴールの紐を持つ!



- ・健康な心と体... 進んで戸外で遊ぶ。自分で考え行動する。
- ・協同性... 友達と積極的に関わる。共同の用具を大切に、皆で使う。
- ・社会生活との関わり(協同性)... 友達と楽しくリレーをしようとする中で、みんなで協力し、物事をやり遂げようとする。

24 おおざと保育園

【みんなで挑戦!!】 4 歳児

参加者からのコメント

視点 1 : 「いいね」を思いのままお書き下さい

- ドッジボール遊びからリレー遊びへ。自分たちでバトンを作ったり、スタートやゴール地点を縄跳び用の縄を使って準備したりする姿は子ども達が主体的になっていいですね。
- 先生が見守りながら援助しているのがいいと思います。
- 子ども達が、バトン作りや白線代わりに縄を使って準備する姿は、リレーをやりたいという意欲が伝わってきます。
- 人数を数えている姿は、これまでの遊びの経験から同じ人数が必要だと気付いているようです。遊びのため込みがいいですね。

視点 2 : 子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- リレーの人数に気付いて数え始めたのは、ドッジボールの経験が活かしているのでしょうか。ルールのある遊びを経験することで様々な気付きに繋がり、自分たちでリレーを始めルールを作っていく姿につながっている。
- 子ども達が、アイデアを出し合って遊びを進めている姿は4歳児とは思えない育ちを感じます。
- 保育者が主導しなくても、子ども達で遊びを進めている姿に自立心や協同性、言葉の伝え合いの育ちが読み取れます。

視点 3 : 遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 保育者の思いは、子ども達が試行錯誤しながら遊びを進めてほしい願いがあると思います。あえて白線を引かずバトンも準備しなかった意図と今後どのようにリレーが展開してほしいかを考えていると思います。次、どのような展開になるか楽しみです。
- 子ども主体にリレーを進めているが、保育者も主体になる共主体だと研修会で教わりました。保育者はリレーを見守っていますが、他にどのような援助を行っているか、また、これからどのような援助を行っていきたいか知りたいです。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

ないものは作ればいい！なんでもできる！という自信がどんどんついているのでしょうね。園内のものは自由にしていっていいということ子どもたちがわかっているからこそ、廃材コーナーまで材料を取りに行くことができたのかな。ルールを付け加えていく等、みんなでルールを作る楽しさにもこれからつながっていくのかなと思いました。

25 のびるっこ保育園【月桃の葉で消臭剤づくり】

ムーチー作りから月桃の葉っぱを使ってからの天然消臭剤づくりまでの道1

ねらい：沖縄の伝統文化、ムーチー作りから遊びに繋げていく。

3歳児



お家にもムーチーがあったよ〜。



むらさきはパープルって英語でいうんだよ。



ぎっていたらムーチーのにおいがしてきた〜。

旧暦の12月8日は、ムーチーの日です。園では、1月19日〔金〕にムーチー作りを行いました。ムーチー作りの導入として絵本やムーチーの歌を日々の保育の中で取り入れていきました。

むらさき色だから、紅芋ははず〜。

ムーチー作りを行った後日、「お家で食べたよ〜。葉っぱのいい匂いがしたよ〜。」と子ども達から声が上がったので、月桃の葉っぱを使って何かできないか?と問い、天然消臭剤作りを思いつき、子ども達と一緒に作ることにしました。

くきがかたくてきれない〜。



もっと切りたい〜!!

はさみで月桃の葉っぱを細かく切りました。最初は難しく、「かたい〜。」と言っていました。葉っぱを切ることに慣れて来たのか、「たくさん切る〜!!」と張り切っていました。

ムーチー作りの当日。前日から楽しみにしていた子ども達。保育者の話を聞きながらムーチーを月桃の葉っぱで包みました。



できたら、ママとパパにプレゼントする〜!

ムーチー作りから月桃の葉っぱを使ってからの天然消臭剤づくりまでの道2

3歳児



これぐらいでいいかな?先生、これぐらい?

いっぱいつくったよ。



むーちーの葉っぱでしようしゅうざいをつくりました。つかってください。

乾燥した葉っぱをどれぐらい袋の中に入れてようか悩みながら、袋の中に葉っぱを入れていきました。



「いっぱい作ったから、プレゼントする?」と保育者が子ども達に聞くと、「他のクラスにあげる〜!!」と張り切っていました。



「袋に入る、好きな量をいれてみたら?」と保育者が子どもに問いかけると、袋に入る量を考えて、つくりました。

はっぱから、むーちーのにおいがするよ。

おうちにかざったよ〜!!

月桃の葉っぱの匂いをかぎながら、ムーチーの匂いがすると不思議そうにしました。「月桃の葉っぱの匂いがムーチーの匂いのもんだよ〜。」と伝えると「いい香りだね」と保育者に話す姿がありました。



消臭剤が完成すると、早く持ってきてくれたのか、「今日、お家にかざるんだよ〜。」「ママよろこぶかな?」と目を輝かせながら保育者や友達にはなしていました。消臭剤が完成した後、再度、何故、ムーチーを食べるのか、ムーチーの由来を伝え、悪い鬼がムーチーを食べて退治されたことを伝えた。沖縄だけではなく日本にも鬼を退治する、行事、「豆まき」があることを伝えると「鬼をやっつける」と意気込んでいました。

消臭剤作った後、散歩の時に、月桃の葉っぱ探しにはまりました。「保育園のムーチーよりも葉っぱが大きいね」と子ども達から声があがりました。

※後日、子ども達から報告がありました。

25 のびるっこ保育園

【月桃の葉で消臭材作り】 3 歳児

参加者からのコメント

視点 1 : 「いいね」を思いのままお書き下さい

- ムーチー作りをしてからそのムーチーの葉を使って消臭剤を作るのはとても面白いアイデアだと思いました。
- 沖縄の伝統行事を伝えるために、絵本やムーチーの歌を導入しているのはとてもいいですね。

視点 2 : 子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 月桃の香りに気付いた子ども達の興味から、天然消臭剤づくりの活動は面白いアイデアだとおもいます。自然との関わり→SDGSにつながっている。
- 協同性、友達や先生との言葉の伝え合い、自分で考えようとする（思考力）、豊かな感性

視点 3 : 遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- ムーチー作りとてもいいですね。どんなふうにして炊きましたかシンメナービがあるともっと良かったかな。消臭剤づくりとてもいいアイデアです。
- ムーチーの葉っぱで消臭剤を作って、その後家庭にお土産に持たせたのか、家庭ではどのように作った、家で喜ばれたのか。家庭とも消臭剤を通してつなげたい。どのような会話が合ったのか、消臭剤の作り方を家庭に伝える。
- 子どもたちにムーチーの葉で何ができると思う？や葉っぱで何がしたい？などと子どもたちに問いかけてみてはどうでしょうか。
- 昔ながらの沖縄の伝統文化が無くなっていく中でみんなでムーチー作りを体験しそれをまた遊びにつなげていくのはとても良いですね。月桃の葉をお茶で飲んでみるのもいいかもしれません。
- 子どもの声を聞いて「月桃の葉っぱ言い匂いだね」と子ども達に気づかせるとか、先生が消臭剤作りを思いつき子ども達に、消臭剤作りをさせている。消臭剤作りが目的になっているように思います。ムーチーの葉っぱでたくさん遊ばせてみてはどうでしょうか。その中から学びが生まれると思いますよ。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

ムーチーづくりだけで終わらずに、絵本や歌、消臭剤作りと工夫されているなと思いました。子どもたちにとって月桃の葉は、特別な葉になったのだらうと思います。他の葉っぱはどんな匂いなのかな？一度の消臭剤作りで終わらずに、他の葉でもいろいろ試してみることができると楽しいかもしれませんね。

野菜がいっぱい!



野菜のタネをまいたよ!
おおきくなあれ!



「みみずがいたー!」

かりゆしキッズ保育園(1・2歳児)

にんじん・玉ねぎ・トマト・ゴーヤー・
オクラ・きゅうり・じゃがいも等
季節の野菜を色々育てています!



「ごつごつしてるよ?」

「まだみどりだね。。。」



野菜の種まき・野菜の収穫
収穫した野菜をすぐに味見したり、
食べられない野菜を使って野菜スタンプ遊びをし
たり、保育園の隣に広い畑があるので、
自然と触れ合う体験を多く取り入れています!



自分で収穫した
らおいしいね!

野菜の色や形・味に興味津々の子ども達!
土や虫が苦手だった子も、畑での作業を何度もしていく
うちに自分から「トマト取るー!」「これとっていい?」
と積極的に自然との触れ合いを楽しんでいます。

野菜スタンプ!!



26 かりゆしキッズ保育園

【野菜がいっぱい！】 1, 2 歳児

参加者からのコメント

視点 1 : 「いいね」を思いのままお書き下さい

- 野菜や生き物に触れ合える事がいいね。
- 野菜の収穫等自然と触れ合い収穫した物を食べる。食育にもつながっていいと思います。
- 野菜を育て収穫をして食べる事。食べられない部分は、スタンプに活用していく、無駄がなく素敵だと思いました。
- 種まきから収穫まで身近に自然と触れ合える環境がある事が良いなとおもいます。
- 身近で色々な野菜の収穫が出来る環境って良いですね。
- 1、2歳児で種まきをして土に触れ、ミミズを発見し手で触るなど貴重な体験ですね。
- 立派なゴーヤーですね。トマトもその他にもいろいろな野菜がいっぱいありそうですね。お野菜が大きく生長して栄養満点でとてもおいしそうですね。

視点 2 : 子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 野菜の手触り、臭い、食べるだけでなく遊びに発展する。
- 食べる事に興味、関心を持ち、意欲を持つ事が出来る。
- 自然にかかわる事でいろいろな発見ができる。土の中には、いろいろな虫、土の感触、収穫した野菜の味は？多様な体験をしていますね。
- 「まだあおいね」「ごつごつしてるよ」など言葉を覚えたり、身の回りのものに親しみをもったり、様々なものに興味関心をもつようになっていきますね。

視点 3 : 遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 野菜の葉っぱ、ゴーヤー・トマトに触れさせることってできますか？1歳児・2歳児には安全面が気になりますか？臭いを嗅がせたり葉っぱもスタンプ遊びをさせるのもいいのではと思います。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

日常的に畑で自然と触れ合う体験することで、土も虫も野菜も、なんにでも興味をもつようになっていってるのですね。子どもたちの気づきを保育者が丁寧に読み取っているのがよく伝わりました。豊かな経験が言葉の発達に結び付いているんだなと感じました。

27 新開保育園 【みんなでお店屋さんごっこやりたいな】

1. まずは品物作り



先生と一緒に一回切り (1才児) 丸めて夕飯お汁 (2才児) きれいに詰めてます。 (3・4才児)



ぶどう作り。丸めて上からは紙で包みつけよう。 (3・4才児)



ドーナツ作り。くしゃくしゃにしほから形を整えます。力加減が難しい。 (3・4才児)



苞むずし作り (3・4才児)



せんべい作り。 (1才児)



たいやき作り (2才児)

各年令の手指操作の力を使ってたくさん品物を作りました。

2. 保育園で練習



「ホトトください」「はい、どうぞん」



魚屋さん きれいに魚を並べます。



「お金は、こちね〜」



アイス屋さん 「スキャンダルね〜」



「たこやきいくら、100円」



全員、店員さんとお客さんを経験しました。



「たいやきください」「はい、どうぞ」



「いらっしゃ〜い」 (おつてはすかし〜)

みんなでお店屋さんごっこやりたいな

3. 本番は旧商店で



地域の方も買い物に来てくれました。



「何屋さんになりたいですか〜?」

くだもの屋、アイス屋、弁当屋、魚屋……



買った物を食べてます。「お弁当いただきます、ホトト好き〜」



「たいやき買ってくださり」



「はい、お金」



買った物は袋に入れて、お金もね。



「ドーナツもありがとうございます〜」



「はい、お弁当、おいしいですよ」

27 新開保育園

【みんなでお店屋さんごっこやりたいな】 1歳～4歳児

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- お店屋さんごっこを、旧商店街で行い地域と交流しているところがいいと思います。
- いろいろな専門家の方々と出会えるのはいいと思いました。店員さんとお客さんの経験、旧商店街の活用でリアリティがありいいと思います。
- 1歳児から4歳児までみんなで取り組み、品物作りに真剣に慎重に行っている様子が伝わってきます。
- 旧商店街活用で地域の方々からも喜ばれ、買い物にきた地域のお客さんとの交流がいいと思います。

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 異年齢で製作をすることで協同性や言葉による伝え合いや表現力が育っていると思う。
- 家庭での料理作りや買い物の様子など、意識して作ったと思う。よく再現していると思います。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 実際の旧商店街でお店屋さんごっことてもステキだと思いました。保護者の方をお客さんに呼ぶのも違った様子を見られていいのかなと感じました。
- 子ども達の表情が生き生きして楽しさが伝わってきます。
- 地域との交流とても良い経験になったと思います。園内の保護者と楽しんだ後に地域の関わりともっと広がるかなと思います。（緊張感が強い子もいるので）
- お店屋さんのエプロンなど用意するとともにきると思います。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

地域の方も買いに来てくださったのですね。またやりたいと次の遊びにつながっているのかな。品物づくりの際に、子どもたちにどのような姿が見られたのか、もっと知りたいなと思いました。何を商品にするのか、わくわくしながら話し合ったのかな。



28 おなかの中から保育園

【木と土と遊ぼう】

参加者からのコメント

視点1：「いいね」を思いのままお書き下さい

- 落ち着いた環境の中で地域を歩いてみたり、素材に触れてみたりと素敵な経験だと思う。
- 異年齢の子たちと関わる機会が沢山あって素敵。
- 異年齢保育、小さい子が寄り添う姿。やってもらった経験があってこそ自然と出来るのだと思います。素敵な仲間です。
- 異年齢保育の中でともに育ちあう、環境、みんなで力を合わす気持ちや、寄り添う気持ち、挑戦する気持ち、地域の人たちと育つ様子とてもいいなと思いました。
- 見たくなるドキュメンテーションです。分かりやすい。生活や環境の豊かさを感じました。自然いっぱいの中で丁寧な関わり、保育が素敵です。
- 自然、異年齢との関わりの中で互いに刺激し合って成長につながりそうです。

視点2：子どもの姿（この事例）からどんな育ちがみられますか

- 地域とのつながりで、みんなに見守られて育つ安心感が子どもの情緒に大きな影響があると思う
- 地域との関わりを通して動物や植物と触れ合っているのが素敵な経験だと思いました。（生命の尊重）
- 自然とのかかわり、健康な心と体
- 思いやり、社会とのつながりが密に出来ると感じた。

視点3：遊びが広がるような環境構成や援助の工夫をどのようにしたらいいと思いますか

- 昔ながらの遊びを生かせることは良いことだと思いました。
- 自然の場を思う存分活用して、また行事等も行うことに驚きを感じました。
- 自然と、とまり合わせでいつでも触れ合うことができる環境がとてもすてきだなと思いました。衛生面など色々なことがある中でどのように保護者等に対応しているのか知りたいです。

講師：宮城利佳子先生よりコメント

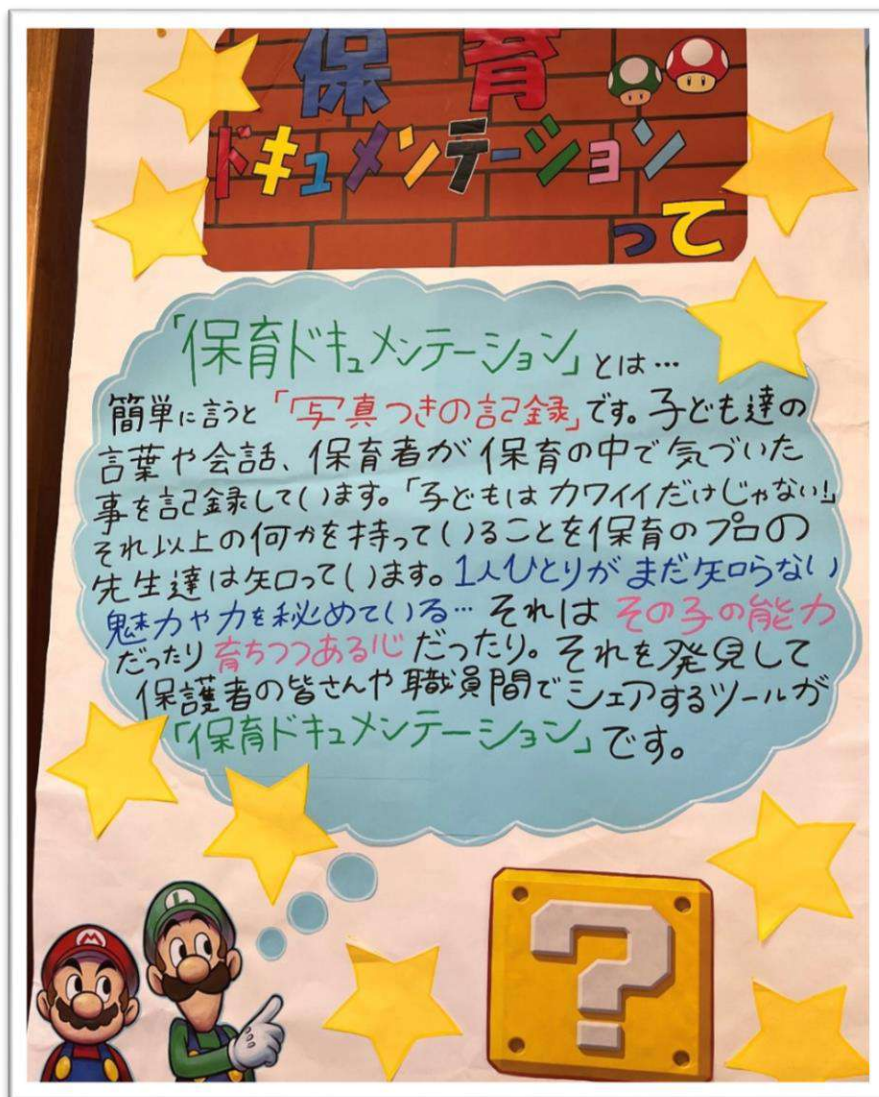
環境を子どもも一緒に作っているのですね。木材を運んだり、切ったり、ペンキを塗ったり、組み立てたりする時の子どもたちの様子をもっと知りたいなと思いました。どうやって計画を立てて実行したのかな。

2 資料編

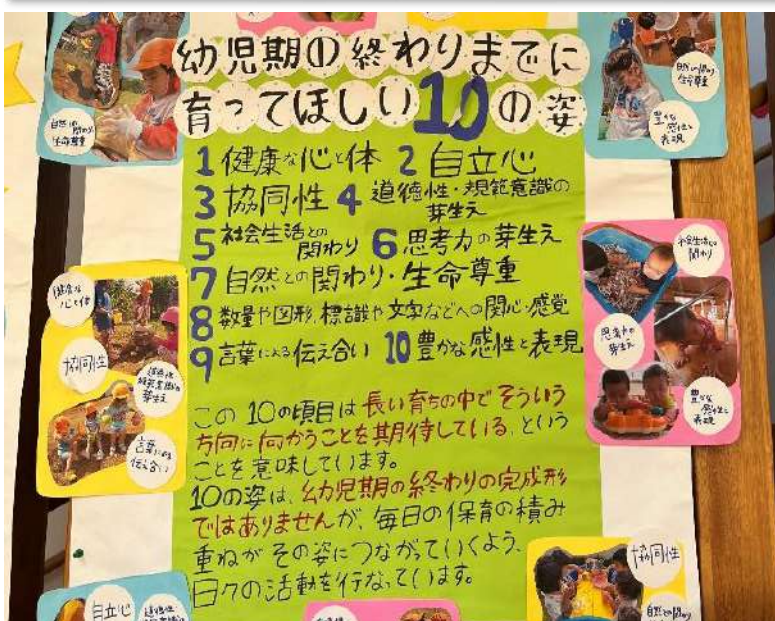
(1) 保護者向けに作成した保育ドキュメンテーションの紹介【南城みなみ保育園】

保育ドキュメンテーションを運動会の時に体育館の壁へ貼り保護者へ運動会までの取組を紹介した。運動会当日は子ども達が競技・演技をする時にこれまでの取組をアナウンスで放送し子ども達の育ちや学びを紹介します。

運動会に向けて子ども達が取組んでいるプロセスに価値があります。自分が目指す目標に向かって諦めず頑張る気持ちや、友達と考えを出し合って競技を進める楽しさ。満足感や達成感を味わいます。沢山の学びがあります。



さくら組(0歳児)



すみれ組(1歳児)



たんぽぽ組(2歳児)



ちゅうりっぷ組(3歳児)



ひまわり組(4歳児)



(2) 昨年のドキュメンテーションの紹介 知念こども園 きりん組(3歳児 21名)

☆①はしるのだからーいすき♡

～こども達の姿から考えていくあそび～

毎日走るのが大好きな子どもたちの姿から、走りながらみんなで楽しむには？と担任で考え「しっぽ取りゲーム」をして楽しむことにしてみました。

エピソード1

「走るのおそい生き物に変身して」
「早い生き物に変身はだめ～」

先生(オニ)と子どもたち(逃げる)のしっぽ取りゲーム。「先生は何の生き物、動物に変身しようかな？」とみんなに考えさせる言葉からスタート。「遅いカニさんになって」「遅い蛇さんになって」「走るの早いライオンはダメー」等子どもたちと言葉のやり取りを楽しみながらしっぽ取りが始まりました。やっぱりしっぽを先生に取られると泣く子がいっぱい。そんな中いつもみんなにいじわるって言われるY君がルールを気にせず友達のしっぽを取り出し始め、もっと泣く子いっぱいに！！そこで担任同士で今日の遊びを振り返り考えることに。

子どもたちもしっぽをとりたいたい気持ちがある。でも子どもたち同士のしっぽ取りのやりとりでは現在のこども達の姿を考えると泣いたり、怒ったりが予想され、ゲームが本当にこども達にとって楽しい遊びとなるか？と考えていくとY君の行動からヒントが！！

しっぽを取られても、しっぽを取られてない人が先生からしっぽを取り返したら復活できるルールにしました。

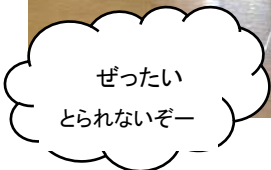
※エピソード②に続く



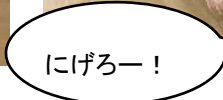
カニさんに変身だあー



カマキリだぞー



ぜったいとられないぞー



にげろー！

☆とられるもんかー☆
～走るのを楽しんでいます～

☆少し走るのがはやくなったぞ☆
～走る速さをコントロール～



先生
こないでー！

☆せんせいとつたらだめ！☆
～にげたい！とられたくない！きもちがかっとうしています～



こっちだよー



先生に
まけないよー

☆はしるのとってもたのしい☆
～はしることをおもいきりたのしんでいます～

☆②しっぽとりかえしてくれてありがとう♡

～こども達とつくりあげていくしっぽとりゲーム～

エピソード2

ルール変更をしたしっぽ取りゲーム！！しっぽを取られても泣く子もほとんどいなくなり、しっぽを取られたお友達のために、必死になって先生を追いかける姿は素敵です。



☆しっぽを取り返すぞ☆
～友だちの為に必死になるこども達～



☆みんなで取り返せ～☆
～友だちと力を合わせて頑張る～



☆これ誰のしっぽ？私のだよ～☆～しっぽを取り返すことができました～



☆こっただよ～☆
～タイム場から動かないこども達～



☆タイム場にいれるのは10までね
☆～こども達とルールの確認中～



☆1, 2, 3, 4, ～☆
～10までに逃げないと～



☆5, 6, 7～☆
～やばい！10になる逃げろ～

「先生にまけないぞー」
「タイム場をつくろう」
「タイム場は10までにしよう」

・しっぽを取れたら赤い線の上で座って待つ。でもしっぽ取られてないお友だちが先生からしっぽを取り返したら復活できるルールに！！そうすると逃げるだけでなく、しっぽを取られた友だちのために取り返そうと頑張る姿が。しっぽを先生から取り返すとみんな大喜び。自然とこども達同士で「頑張れー」「ありがとう」の言葉のやりとりがみられるようになりました。

でも長い間走って逃げるのは疲れてきたこども達！！「先生タイム場作ろう」と提案の声。「どうやってタイム場作る？」の先生の問いかけに「マットを置けばいい」とのこども達からのアイディアが。そこでタイム場を新しいルールに追加し再スタート。でも長い間タイム場から動かない子が！！先生の疲れている様子、困った様子に気づいた子が「これだったら先生しっぽとれないじゃん？」「タイム場は100まではいれる事にしよう」と提案が！そこで先生が「100は長いから10でいい？」と提案すると「短い。嫌だ」という声も聞こえましたが「いいよ」とやり取り成立。新しい10秒ルールをまた追加して楽しむ事になりました。こども達とつくりあげて行っているの、ルールを先生が教えるではなくこども達同士で教え合う姿も見られるようになりました。

※エピソード3に続く

☆③みんながいるから楽しめる♡

～こども達の声をかからに～

エピソード3

「明日もしっぽ取りやりたーい」「先生に絶対負けないぞ」と毎日しっぽ取りを楽しみに登園するようになったこども達。朝の自由遊びの時間、自分達でしっぽ取りをして楽しむ姿が見られるようになりました。



☆絶対しっぽはとられないぞ☆
～ルールを考えるきっかけに～



☆しっぽ取られたくないよ☆
～友だちが話を聞いてくれます～



☆「みんながしっぽ取り返すから大丈夫だよ」☆～みんな言葉がH君の力になりました～



☆ヤッター！みんなで力を合わせて勝ったぞ☆～走る楽しさ・ルールを守る・友だちのために頑張る・～沢山のことを学びました

「もうしっぽ取りやりたくない」「足が痛くなるから」「しっぽ取られるのがいやだから」

毎日「しっぽ取りしたい」「先生に負けないぞ」との声が聞こえるようになりました。「先生より走るの速くなりたいからごはんいっぱい食べる」「先生より足が強くなりたいからいっぱい眠る」と子どもたちの生活の意識も変化してきました。

しっぽ取りゲームをしていくうちに「取られたくない」という気持ちが強くなり、しっぽを手でもって逃げるH君が。みんなでルールの確認をすると、「ルールは守らないといんちきだよ」ルールをもう一度再確認しました。その次の日、H君が「もうしっぽ取りやりたくない」と言ってきました。理由を聞くと「足が痛くなるから」と・・・

でも本当は「しっぽをとられたくない」からでした。H君に直接「この事みんなに話して、みんなで考えていきたいけど話してみたい？」と提案するとH君からオッケーをもらいみんなで話し合いをする事に。「しっぽ取られても取り返すから大丈夫」「俺が取り返すよ」「みんなが取り返すから大丈夫よ」等こども達から力強い言葉が聞かれました。するとH君が「俺しっぽ取り頑張る」と自ら言うてきました！この話し合いをきっかけにより同じ目的意識、イメージを共有してしっぽ取りを楽しむようになり、大きな行事、運動会でもみんなでも楽しむ事ができました。

☆④いろいろなことができるようになったよ♡

～しっぽ取りから広がる力～

運動会でしっぽ取りを経験し大きな自信と力になったこども達！遊びや行動に大きな変化が見られるようになりました。

丸に切るの
かんたん！かんたん！



☆ハサミ使うの上手でしょ☆
～直線切りから丸、三角、四角の形が切れるように～

飛行機の作り
方どんなだっ
たかな？



☆飛行機作るぞ☆
～角と角を合わせて折るのが上手に～

☆いっぱい走る事で指先も器用になりました☆



☆だーるまさんがころんだ！！☆～自分達で話し合い、ルールを決め遊べるように～



☆走りながら止まったり、方向転換したりの実験が気持ちのコント

ローにつながり、言葉のやり取りが上手になってきました☆



動いたのに何
でこないの？

☆どういふこと？こんなじゃない？☆ ～友だちとの言葉のやり取りも上手に～

オニは誰が
なる？



(3) 保育ドキュメンテーション研修会の様子

実施日時	令和6年1月30日～1月31日 *1月29日貼りだし日
実施場所	南城市大会議室 *展示(参加園28園)小規模園・認可外保育園を含む
参加者	幼児教育施設186名、小学校16名、その他63名(市役所職員、他市町村、南城市民)、3日間累計265名
<p>1、テーマ</p> <p>展示された保育ドキュメンテーションを見て学びを深める。 保育ドキュメンテーションの作成を通して子どもの育ちや学びを可視化し、次の保育につなげる</p>	
<p>2、活動内容</p> <p>(1) 市内幼児教育施設(保育所、こども園・幼稚園)の保育ドキュメンテーションを展示する。 (2) 参加者は各園の保育ドキュメンテーションを見て、視点を基に付箋紙に記入し張り付ける。 (3) 視点①～③に沿ってコメントを記入する。 視点① 「いいね」をありのままに書いて下さい(幼児理解) 視点② 子どもの姿からどのような育ちが見られますか(育ちを読み取る) 視点③ 遊びが広がる環境や援助をどのようにしますか(環境や援助の工夫) (4) 参加園28園 〈保育ドキュメンテーション研修会の様子〉</p>	
	
<p>3、成果(アンケートより抜粋)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育の中でドキュメンテーション作成するのは大変なこともあるが、自分の保育の振り返りにもなり質の向上に繋がると思った。 ・ドキュメンテーションから子ども達の姿や、教師の意図、仕掛けなどを知ることができました。又、ドキュメンテーションを通して子ども達、担任、保護者と対話のツールになると感じました。 ・一堂に展示された保育ドキュメンテーションを見て、市内の保育の様子を知ることができ学びになった。 <p>*会場では、他園の先生方がお互いの事例を見て意見を交わしたり名刺や連絡先を交換したりしていた。</p>	
<p>4、課題</p> <p>①各園からはパネルに貼れる枚数や年齢にも制限をしなかった。そこで園では0歳から5歳児まで出す園があり負担になったと思う。南城市内では、「幼児の遊びこみ」をテーマにかかっている。幼児が主体的に遊びを展開し「遊びこむ」事例を展示した方が良いと感じた。 ②保育ドキュメンテーションの良さや目的を十分理解はしているが、作成する時間が確保できない園があり負担に感じている園もある。 ③展示の時間を午前も見られるようにしてほしいとの声がある。 ④小学校、中学校の参観者が少なかった。</p>	
<p>5、改善策</p> <p>①0歳～5歳児まで必要感で提示(提出)必要はなく、幼児が遊びこんでいる事例を出すようにする。園内研修で計画的に6月頃まで11月頃までの事例を検討してカンファレンスをする。 ②近隣の保育園の園内研修の好事例を参考にする。園長会や主任会で意見交換会等を設ける。 ③④課題等を十分検討し、年度始めに「保育ドキュメンテーションの持ち方について」校長会や園長会で説明をする。</p>	

(4) 架け橋期カリキュラム研修会の様子

実施日時	令和6年1月30日～1月31日
実施場所	南城市大会議室
参加対象(参加者)	小学校：幼小連携担当者及び低学年担当（16名） 幼児教育施設：幼小連携担当者及び年長児担任（52名） 沖縄県義務教育課・幼児教育班（7名）その他（5名）
1、テーマ	
「南城市架け橋期カリキュラムガイド」～幼児教育の遊びは学び！小学校以降の深い学びへ～を作成 展示された保育ドキュメンテーションを基に、幼児期の学びや育ちを幼児教育職員と小学校教育職員で子 どもの姿から語り合うことを通して接続期カリキュラムに生かしていく。	
2、活動内容	
<p>○幼児教育施設の保育ドキュメンテーションの展示物を見る</p> <p>○センター長より「架け橋期カリキュラム作成の際に大切にしたいこと」を説明 幼・小の関係者が連携して架け橋期カリキュラムや教育方法の充実・改善 指針・要領、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の正しい理解と改善 幼児教育施設的环境構成や子どもへの援助に関する工夫が見える化 〈作成ポイント〉 ①目指す子ども像の共有 ②目指す子ども像を基に展開する遊び ③小学校年間の主 な単元構成 ④相互交流の主な取組を検討 〈ワークショップ〉互いに伝えたい事を語り合う。ドキュメンテーションや幼児の育ち等を基に！ (架け橋期カリキュラムについて、目指す子ども像について)</p> <p>○グループ編成 A～Eグループ 各6名～7名 〈1月30日〉34名：船越小区・玉城小区・百名小区・佐敷小区・馬天小区・校区の幼児教育施設 〈1月31日〉34名：大里北小区・大里南小区・知念小区・久高小区・校区の幼児教育施設</p>	
	
3、成果（アンケートより抜粋）	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園、こども園の先生方から、保育・教育でやっている遊びのねらいを聞くことができ、小学校での子ども達との姿につながりました。たくさん経験したことを、小学校での各教科の「やってみたい！」「こうしたらできそう」という学ぶ意欲につなげていきたいと思いました。 ・架け橋期カリキュラムとなると難しく感じていました。校区の幼小の先生方と話し合う機会が持て少し気持ちが解れました。このような研修会はもっと多くあるといいですね。又、この場に中学校の先生の参加もあると良いと思いました。 ・幼児教育施設の先生方とお話を共有できて良かったです。目指す子ども像では、「互いの良さを認め合える子」「自分の気持ちを伝えられる子」など、幼小で共通することも多かった。 <p>*幼小の職員は今回のような研修会に参加して双方の話し合いができたことで充実感を味わっていた。今後もこのような研修会を希望する声が多く寄せられた。</p>	
4、課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児教育施設、小学校の職員は架け橋期カリキュラムの理解が十分とは言えない。 	
5、改善策	
<ul style="list-style-type: none"> ・校区ごとに幼小職員が、架け橋期カリキュラムについての自主的に計画をする。 (理解を深めるためには、協働で作成するためには) 	

おわりに

南城市内の幼児教育施設では、子どもたちが夢中になって遊び込んでいる素敵な姿を保育ドキュメンテーションで見える化することにチャレンジしています。今年度もその素敵な風景をここにまとめることができました。

保育ドキュメンテーションの事例集を取りまとめるにあたり、各幼児教育施設の園長先生や担当の先生方には南城市幼児教育センターの取組みにご理解、ご協力いただいたことに感謝申し上げます。

また、琉球大学教育学部の宮城利佳子先生には、全ての保育ドキュメンテーションへのコメントや、幼児教育センターの幼小連携の取組みへのサポートを頂いたことに感謝申し上げます。

今年度の保育ドキュメンテーションは、各園での工夫した取組みが多くみられ、保育者も楽しみながら子どもたちの遊びを共有していることや、保育・教育への想いが伝わってきます。

次年度以降も南城市内の全ての幼児教育施設で、子どもたちが主体的になり、対話をしながら遊びを広げたり、深めたりする姿を、保育ドキュメンテーションの取組みを通して増やしていきたいですね。

令和6年 1月
南城市幼児教育センター
センター長 與儀 毅